リモートアクセス&Giga対応 有線ブロードバンドルーター

BHR-4GRV ユーザーズマニュアル

buffalo.jp

35012132 ver.02

目次

##

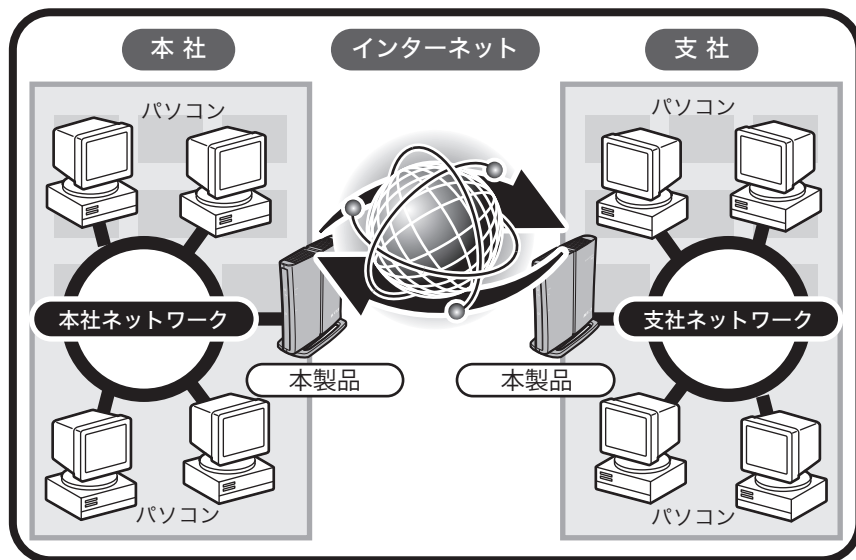
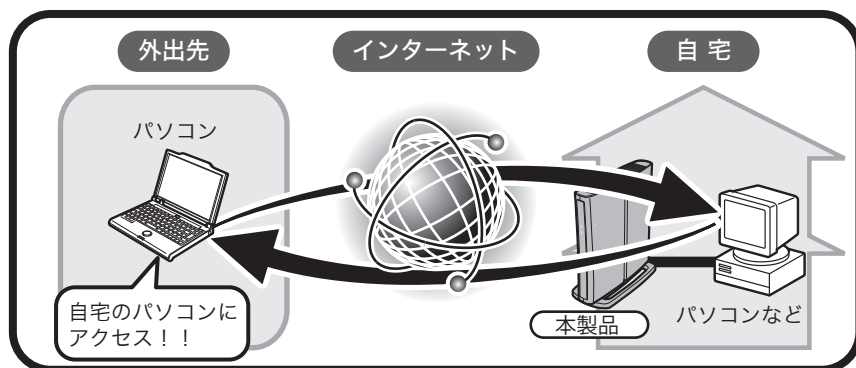
Chapter 5 - 本製品の各種設定 143

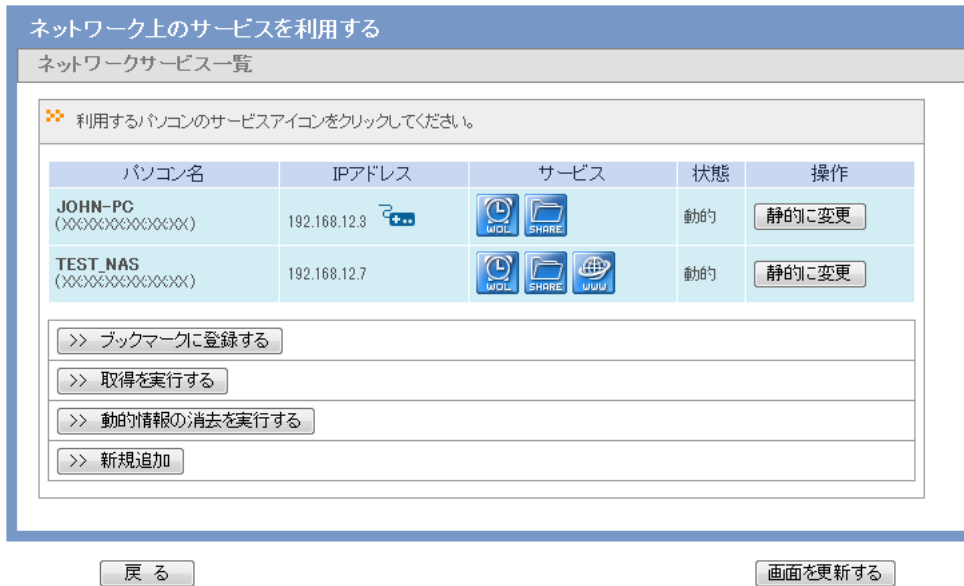
Chapter 6 - 付録......197

Chapter 1 - はじめに

おもな特長

PPTPサーバー/PPTPクライアント機能を搭載

リモートアクセスVPNを使用して、外出先から自宅や会社のパソコン・ファイルサーバーにアクセスしたり、拠点間のネットワーク同士を接続することができます。

Wake on LAN機能に対応

本製品のネットワークサービス一覧画面より、LAN内のパソコンに対してマジックパケットを送信することができます。リモートアクセスVPNと組み合わせることで、外出先から自宅や会社のパソコンの電源をONにすることができます。

1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応スイッチングハブを搭載

背面に1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tに対応したスイッチングハブを搭載しているため、パソコンやネットワーク機器を接続し、高速通信を行うことができます。

USBポートを搭載

USB用HDDをつないで家中のパソコン・デジタル家電でデータが共有できるネットワーク対応HDD(NAS)として使えます。

プリントサーバー機能を搭載

USB対応のプリンターや複合機を本製品のUSBポートに接続し、複数のパソコンから利用できます。

動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

対応OS

<BHR-4GRV本体>

Windows 8 (64 ビット/32 ビット)、Windows 7 (64 ビット/32 ビット)、
Windows Vista (64 ビット/32 ビット)、Windows XP (32 ビット)、
Mac OS X (10.4/10.5/10.6/10.7/10.8)

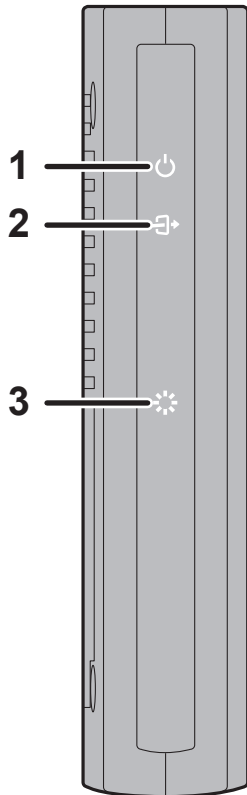
<付属ソフトウェア>

Windows 8 (64 ビット/32 ビット)、Windows 7 (64 ビット/32 ビット)、
Windows Vista (64 ビット/32 ビット)、Windows XP (32 ビット)、
Mac OS X (10.4/10.5/10.6/10.7/10.8)
※ 付属CDに収録されているウイルスバスターは、Windows版のため、Mac OS Xでは使用できません。

<対応ブラウザー>

Internet Explorer 6.0以降、Safari 3.0以降 (Mac OS Xのみ)

各部の名称とはたらき

正面

1 POWER ランプ(緑)

点灯: ACアダプター接続時
消灯: ACアダプター未接続時

2 VPN LED(橙)

点灯: リモートアクセスにより、外部からアクセスされているとき。
LAN間接続VPNでアクセスしているとき。

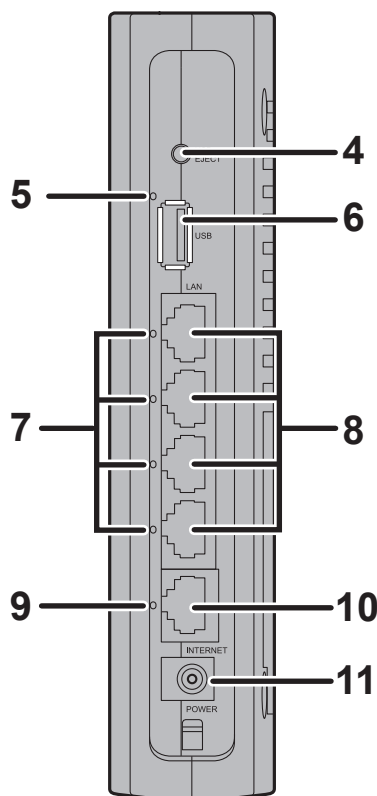
3 DIAG ランプ(赤)

点滅回数により本製品の状態を示します。
※本製品の電源をONにした際にも、しばらく点灯します。

点灯状態	内容	状態
2回点滅※1	フラッシュROM異常	フラッシュメモリーの読み書きができません。
3回点滅※1	有線LAN異常	有線LANコントローラーが故障しています。
5回点滅	IPアドレス設定異常	INTERNETポートとLANポートのネットワークアドレスが同じため通信できません。本製品のLAN側IPアドレスの設定を変更してください。
連続点滅※2	ファームウェア設定中 設定保存中 設定初期化中	ファームウェアを更新しています。 設定を保存しています。 設定を初期化しています。

※1　一度、ACアダプターをコンセントから抜いて、しばらくしてから再度差し込んでください。再び、ランプが点滅している場合は、当社修理センター宛に本製品をお送りください。

※2　連続点滅中は、絶対にACアダプターをコンセントから抜かないでください。

背面

4 USBイジェクトボタン

USBディスクを取り付けた状態で、約3秒間ボタンを押し続けてからボタンを離すと、USBランプが点滅してUSBディスクが取り外し可能な状態になります。

5 USBランプ(緑)

点灯: USBディスク接続時
点滅: USBディスクが取り外し可能な状態
消灯: USBディスク未接続時

※USBランプ点灯中はUSBディスクを抜いたり、本製品の電源をOFFにしないでください。

6 USBポート

USBディスクを接続します。

7 LANランプ(緑)

点灯: 各LANポートリンク時
点滅: 各LANポート通信時

8 LANポート

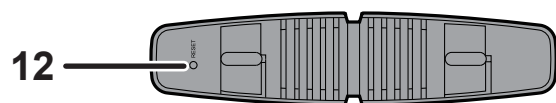
パソコン/ハブを接続します。1000/100/10Mbps対応スイッチングハブです。

9 INTERNETランプ(緑)

点灯: INTERNETポートリンク時
点滅: INTERNETポート通信時

10 INTERNETポート　モデム/ONU/CTUを接続します。1000/100/10Mbps対応です。

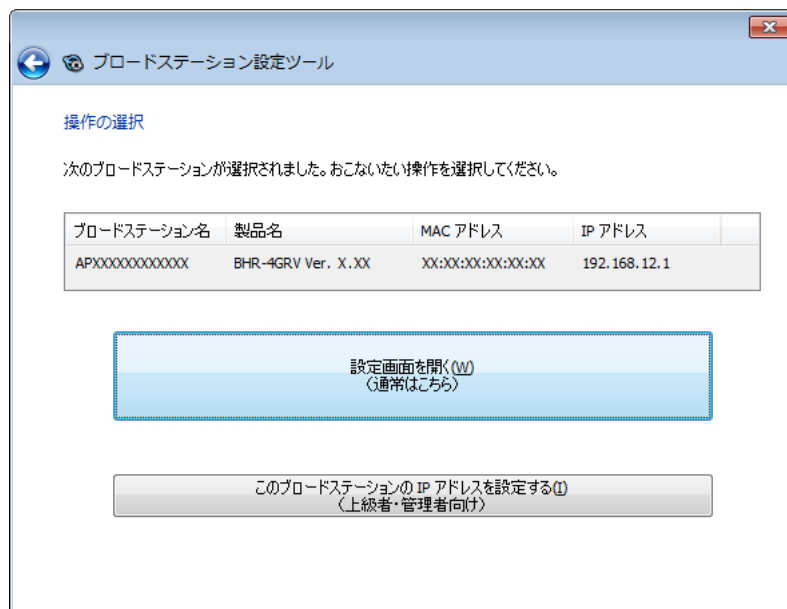
11 DCコネクター　付属のACアダプターを接続します。

底面

12 RESETボタン 本製品の電源を入れた状態で、DIAG LEDが点灯するまで（約3秒間）ボタンを押し続けると、本製品の設定が初期化されます。

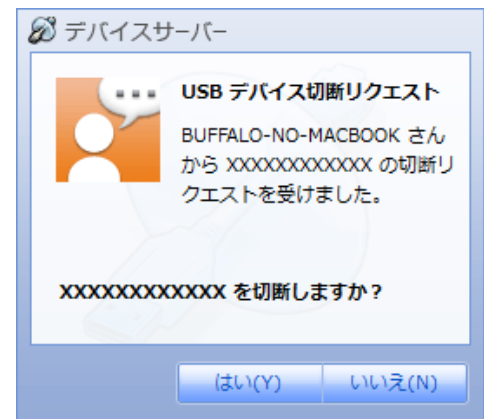
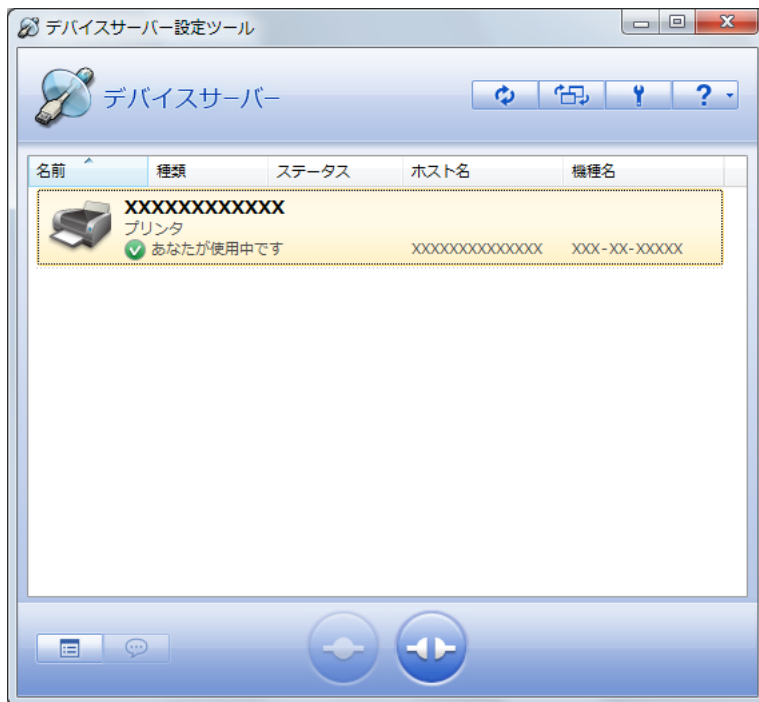
付属ソフトウェアについて

ブロードステーション設定ツール(Windows/Mac用)

ブロードステーション設定ツールは、本製品の設定画面をかんたんに表示するためのソフトウェアです。本製品とパソコンを接続して、ブロードステーション設定ツールを実行すると、本製品の設定画面を表示したり、本製品のIPアドレスを変更することができます。

メモ 本書に記載の各種設定を行うには、ブロードステーション設定ツールが必要となります。設定をおこなう前に、別紙の「らくらく！セットアップシート」を参照して、インストールしてください。

デバイスサーバー設定ツール(Windows/Mac用)

デバイスサーバー設定ツールは、本製品のUSBポートに接続したプリンターや複合機をネットワーク上のパソコンで使用するためのソフトウェアです。使用したいパソコンでデバイスサーバー設定ツールを起動後、印刷、もしくはスキャナーを利用できます。他に使用しているユーザーがいる場合は、使用中のユーザーに解放依頼のメッセージを送ることもできます。

メモ デバイスサーバー設定ツールについての詳細は、「本製品に接続したプリンターや複合機を使用する」(P163)を参照してください。

ウイルスバスター 90日期間限定版（Windows専用）

トレンドマイクロ社製のウイルス対策ソフトです。パソコンにインストールすることで、コンピューターウィルスなどの不正プログラムからパソコンを保護することができます。本製品に付属のウイルスバスターは90日限定版のため、継続して利用する場合は、インストール後に表示される画面の指示に従ってください。

メモ
- ウイルスバスターについての詳細は、本製品に付属のチラシを参照してください。
- 付属CDに収録されているウイルスバスターは、Windows版のため、Mac OS Xでは使用できません。

Chapter 2 - 外出先からの接続設定

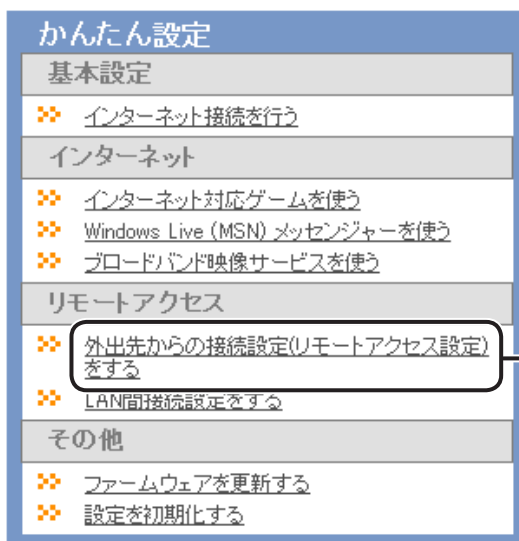
本章では、外出先から自宅や会社のネットワークにアクセスするための設定を説明します。

以下の設定の前に、別紙の「らくらく！セットアップシート」を参照して、本製品の初期設定を行ってください。初期設定完了後、インターネットに接続できることを確認したら、以下の設定を行ってください。

本製品の設定（リモートアクセス設定）

外出先からアクセスできるように、本製品を設定します。

1　「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2

「外出先からの接続設定(リモートアクセス設定)をする」をクリックします。

3 「設定を変更する」をクリックします。

戻る

メモ ここではダイナミックDNSを使用する場合を例に説明します。固定IPアドレスを使用するなど、ダイナミックDNSの設定を行わない場合は、[設定を変更しない]をクリックして、手順14へ進んでください。

4 使用するダイナミックDNSサービスを選択します。 ここでは例として、「バッファローダイナミックDNSサービスを利用する」をクリックします。

戻る

メモ 「バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用する」をクリックした場合は、ユーザー名、パスワード、ホスト名、IPアドレス更新周期などを別途設定し、手順14へ進んでください。

5 [接続]をクリックします。

6

BUFFALO Dynamic DNS Service

ダイナミックDNS利用 登録受付

登録完了までの道のり: ○→→→→→→→△

バッファロー・ダイナミックDNSサービスをご利用いただくには、まずはじめに対象製品のユーザー登録を行っていただく必要があります。
以下のフォームに必要事項を入力して『登録・再設定』ボタンをクリックするとユーザー登録に進み、ユーザー登録後ダイナミックDNS利用登録に移ります。

*すでにユーザー登録をされている場合
ユーザーID、パスワードまたは電話番号および14桁の製造番号を入力してください。
パスワード登録をされている場合はパスワードを、パスワード登録がお済でない場合は電話番号を入力して『登録・再設定』ボタンをクリックしてください。
※パスワードはこの登録受付からユーザー登録を行うと設定されます。

*ユーザー登録がお済みでない場合
ユーザーID、パスワード、電話番号とも空欄のまま、14桁の製造番号のみを入力し『登録・再設定』ボタンをクリックしてください。

ユーザーID

パスワード　電話番号

14桁の製造番号(必須)

xxxxxxxxxxxxxx

入力いただいた個人情報は、お客様の事前の同意なく第三者への開示を行いません。
また、弊社製品情報(新製品情報、所有製品の機能向上情報等)の提供、製品・サービス向上の為のアンケートのお願い以外には使用いたしませんのでご安心ください。

登録・再設定　リセット

[ユーザーIDを忘れた場合はこちらから確認可能です] [よくある質問]

製造番号(本製品本体のシールに記載されている14桁の数字)を入力します。

すでにBUFFALOダイナミックDNSサービスをご利用の場合は、ユーザーIDとパスワードと製造番号を入力します。

[登録・再設定]をクリックします。

7 「個人・法人」(選択)、「住所」、「氏名・法人名」、「電話番号」、「パスワード」、「電子メールアドレス」を入力し、[登録]をクリックします。

8 登録内容を確認して、[登録]をクリックします。

9 [ダイナミックDNS利用登録開始]をクリックします。

10 会員規約文を確認し、同意できる場合は[同意して登録する]をクリックします。

11

12

BUFFALO Dynamic DNS Service

バッファロー・ダイナミックDNSご登録内容の確認

登録完了までの道のり: ●●●●●● ○△

バッファロー・ダイナミックDNSサービス利用登録が完了しました。
ご登録いただきましたサービスは、ご登録の翌月末まで無償にてご提供いたします。
その後も継続してご利用の場合は別途有償サービス利用のお申し込みをいただく必要があります。
有償サービスのお申し込み方法につきましては、無償提供期間終了前にご登録のe-mailアドレス宛に電子メールにてお知らせいたします。

ご登録内容を下記の通り受け付けました。

上記の内容を確認してください。
変更・訂正がある場合は、再度ログインして訂正してください。

このデータをルータに登録します。

13

14 常に決まったIPアドレスから本製品にアクセスする場合は、「接続元アドレス制限機能」を「使用する」にし、「接続を許可するIPアドレス」を入力して、[新規追加]をクリックします。
不特定の場所から本製品にアクセスする場合は、この設定は行わずに[進む]をクリックします。

ここでは例として、不特定の場所から本製品にアクセスする場合を想定し、この設定は行わずに[進む]をクリックします。

15 外出先から本製品にアクセスする際に使用する「設定用ホスト名」を入力して、[進む]をクリックします。

メモ
・設定用ホスト名とは、外出先から本製品にアクセスする際に使用するアドレスです。例えば、設定用ホスト名を「home.vpn」と設定すれば、外出先から「http://home.vpn/hosts.html」というアドレスで、本製品のネットワークサービス一覧画面（P60）を表示できます。

・すでにインターネット上に実在するアドレス（例：86886.jpなど）を設定用ホスト名に設定すると、外出先から本製品にアクセスできないことがあります。

16 外出先から本製品にアクセスする際に使用するユーザーIDとパスワードを入力して、[新規追加]をクリックします。

リモートアクセスユーザー登録リスト

ユーザーID割り当て方法/アドレス操作
ユーザーIDは登録されていません

17 手順16で設定したユーザーIDが追加されていることを確認し、[進む]をクリックします。

18 [設定]をクリックします。

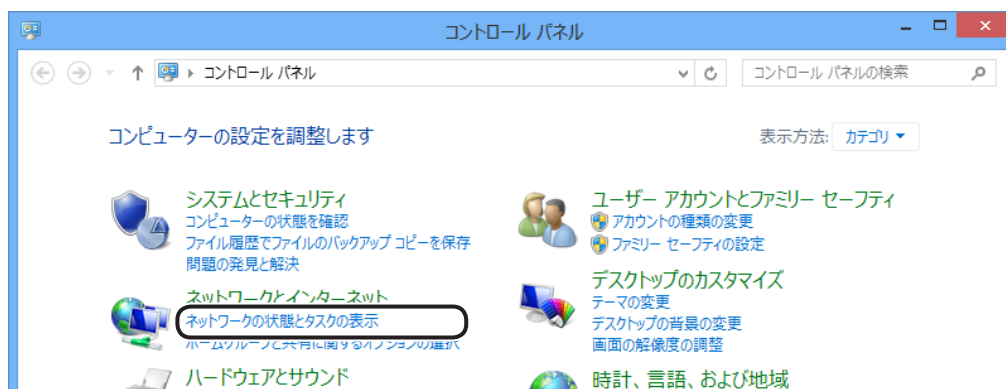
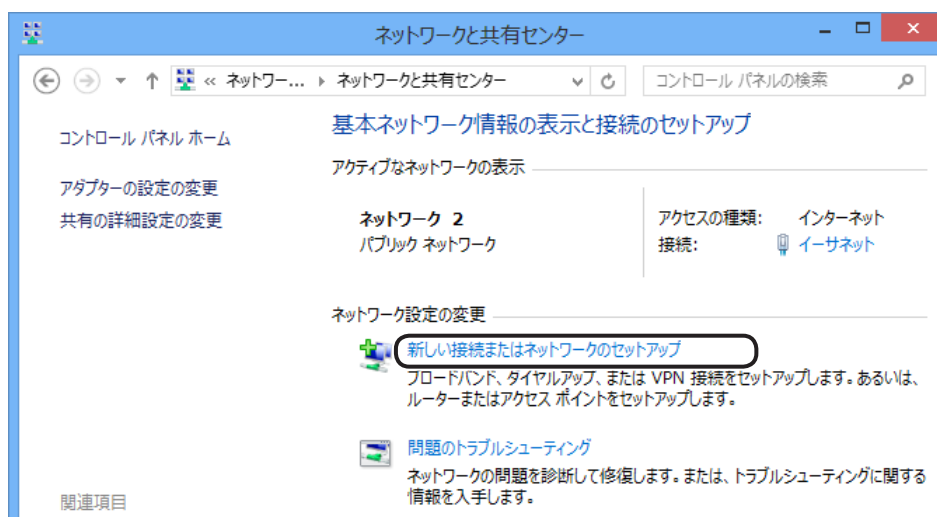
以上で設定は完了です。

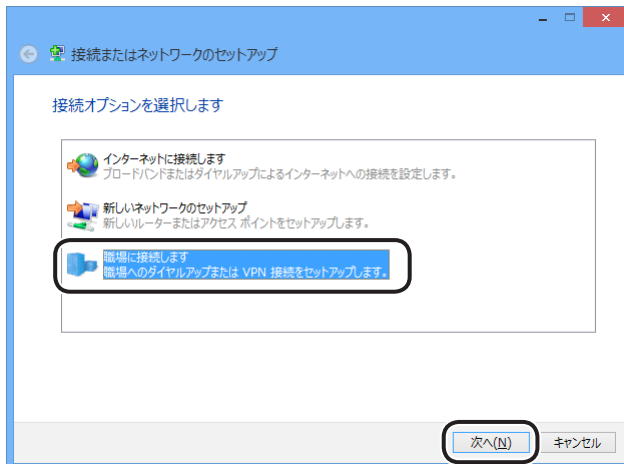
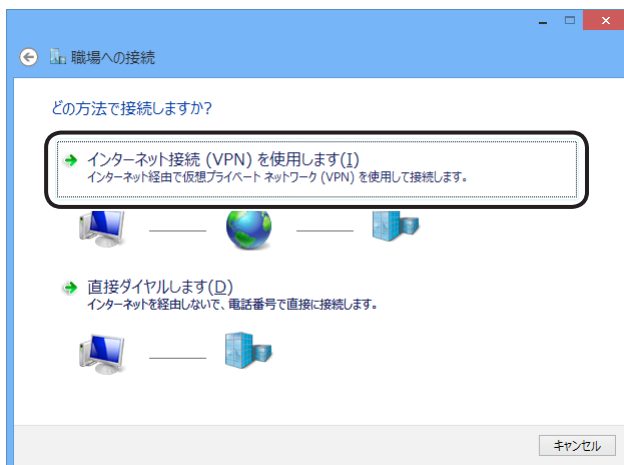
外出先で使用する機器の設定をする

Windows 8をお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。

(パソコンの場合は、画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]を選択します。タブレットでは、画面右端を左にスワイプし[検索]をタップした後、[コントロールパネル]を選択します。)

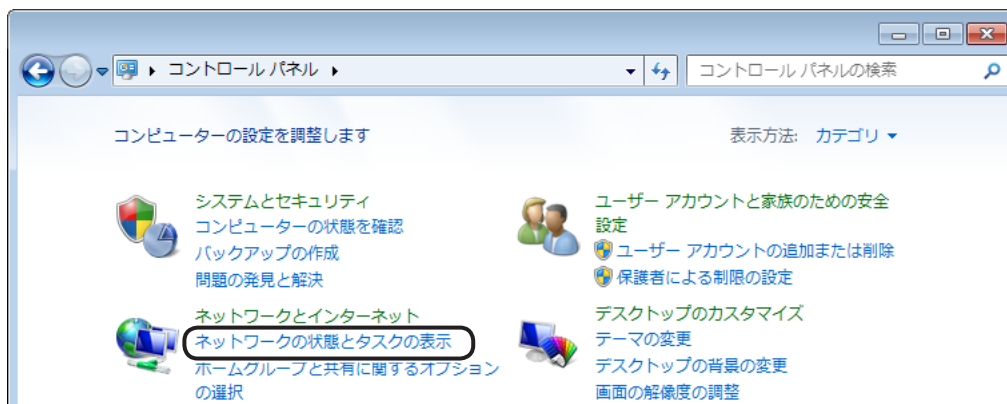
2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

3 [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

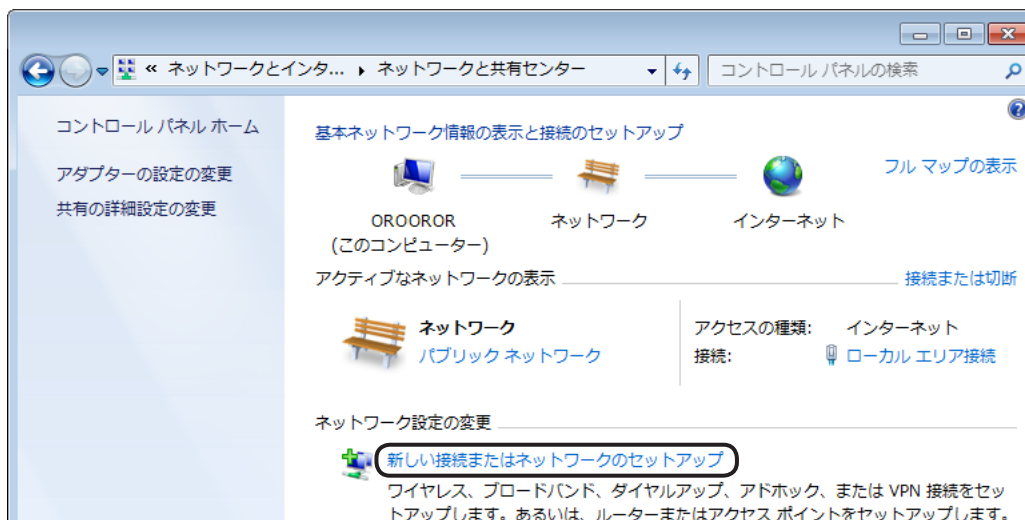
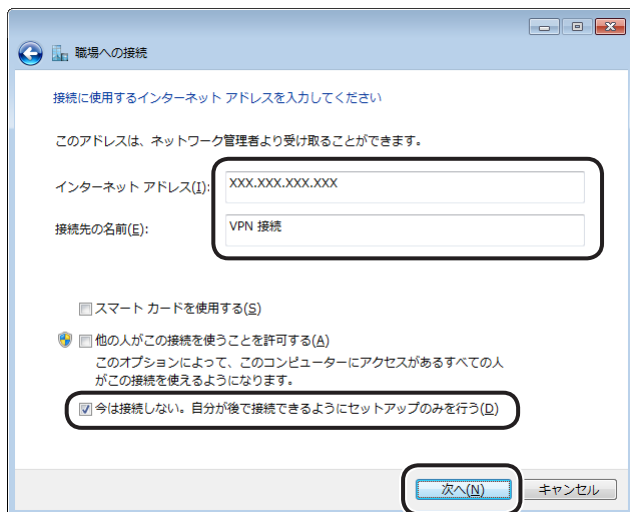
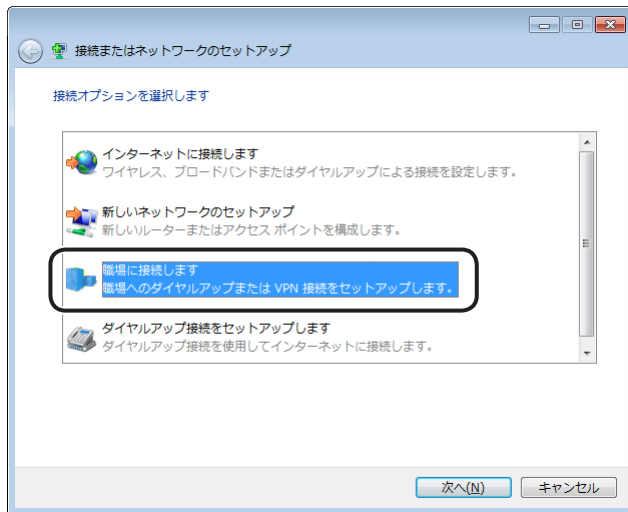
4 「職場に接続します」を選択して、[次へ]をクリックします。

5 「インターネット接続(VPN)を使用します」をクリックします。

6 本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順11(P18)で取得したURLと接続先の名前(任意の名称)を入力し、[作成]をクリックします。

メモ バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用している場合や固定IPアドレスをご利用の場合は、「インターネットアドレス」欄にダイナミックDNSのホスト名やIPアドレスを入力してください。

以上で設定は完了です。

Windows 7/Vistaをお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

3 [(新しい)接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

4 「職場に接続します」を選択して、[次へ]をクリックします。

5 「インターネット接続(VPN)を使用します」をクリックします。

6 「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順11（P18）で取得したURLと接続先の名前（任意の名称）を入力し、「今は接続しない。自分が後で接続できるようにセットアップのみを行う」にチェックマークをつけて、[次へ]をクリックします。

メモ バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用している場合や固定IPアドレスをご利用の場合は、「インターネットアドレス」欄にダイナミックDNSのホスト名やIPアドレスを入力してください。

7 「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順16（P21）で設定したユーザー名とパスワードを入力し、[作成]をクリックします。

8 「接続の使用準備ができました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

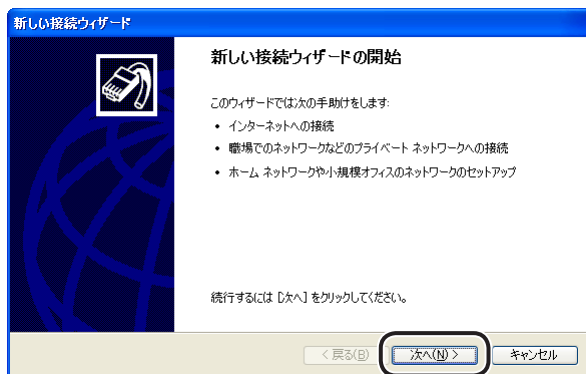
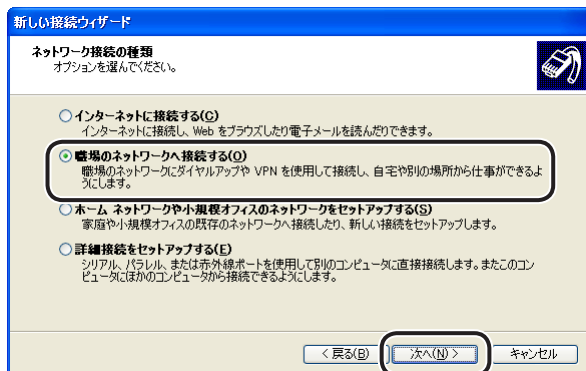
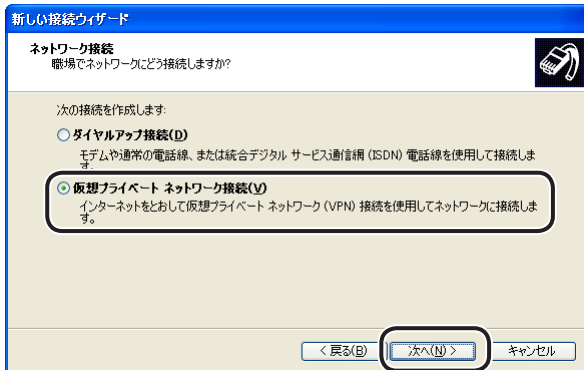
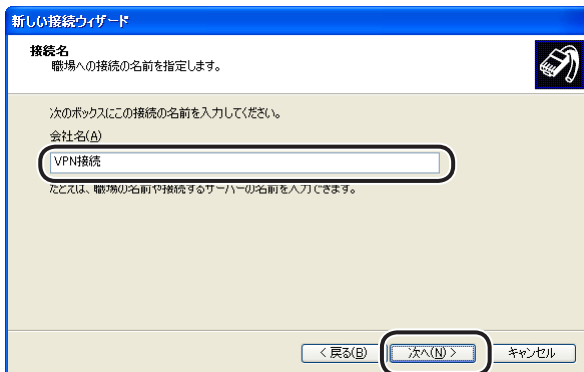
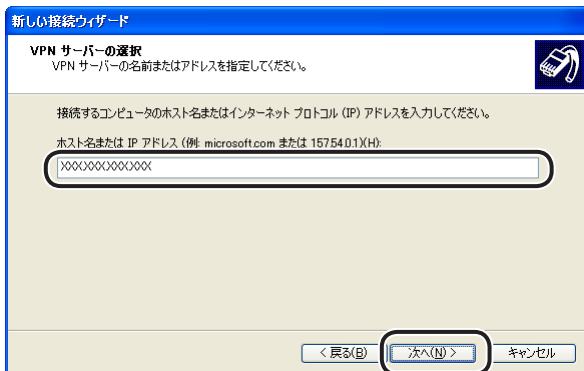
Windows XPをお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

3 [ネットワーク接続]をクリックします。

4 [新しい接続を作成する]をクリックします。

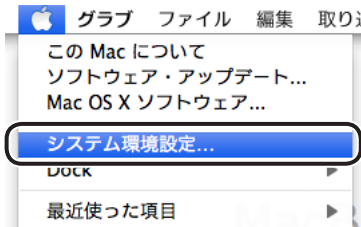
5 [次へ]をクリックします。

6 「職場のネットワークへ接続する」を選択して、[次へ]をクリックします。

7 「仮想プライベートネットワーク接続」を選択して、[次へ]をクリックします。

8 「会社名」に任意の名称を入力して、[次へ]をクリックします。

9 「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順11（P18）で取得したURLを入力して、[次へ]をクリックします。

メモ バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用している場合や固定IPアドレスをご利用の場合は、「ホスト名またはIPアドレス」欄にダイナミックDNSのホスト名やIPアドレスを入力してください。

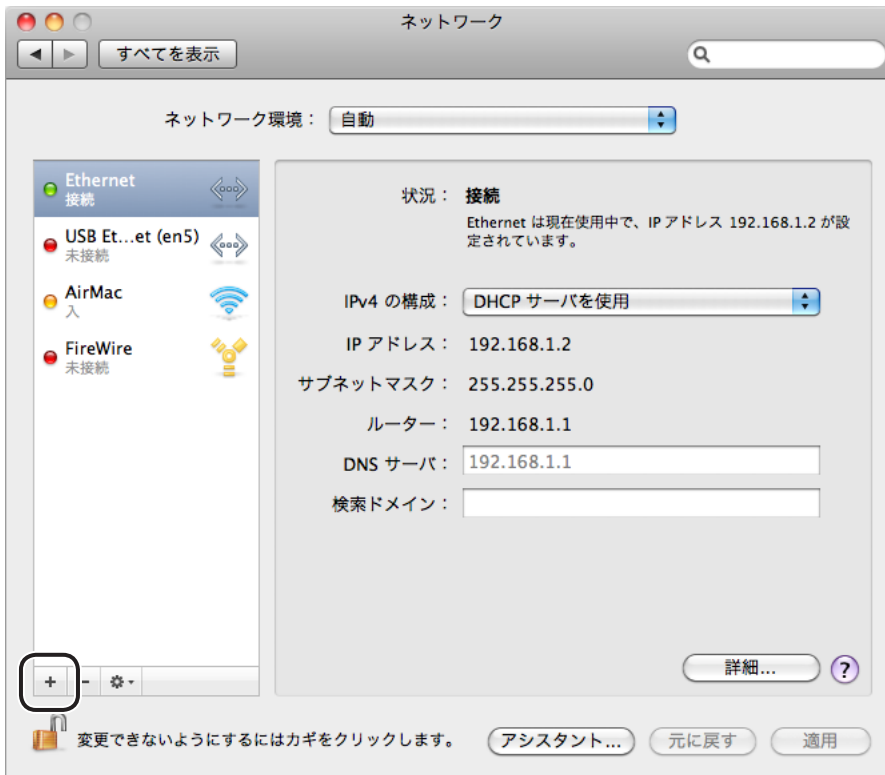
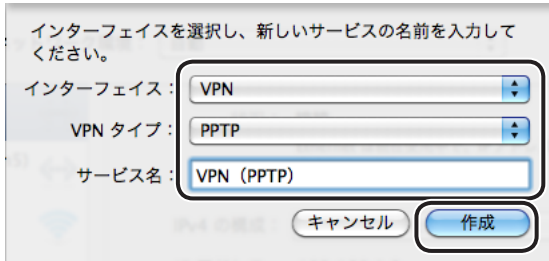
10 「新しい接続ウィザードの完了」と表示されたら、[完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、Mac OS X 10.6の場合を例に説明します。

1 [アップルメニュー]ー[システム環境設定]をクリックします。

2 「ネットワーク」をクリックします。

3 「+」をクリックします。

4 インターフェイスで「VPN」、VPNタイプで「PPTP」を選択、サービス名に任意の名称を入力して、[作成]をクリックします。

5 サーバアドレスに「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順11（P18）で取得したURLを、アカウント名に「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順16（P21）で設定したユーザー名を入力し、[認証設定]をクリックします。

6 パスワードを選択し、「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順16(P21)で設定したパスワードを入力して、[OK]をクリックします。

7 [適用]をクリックします。

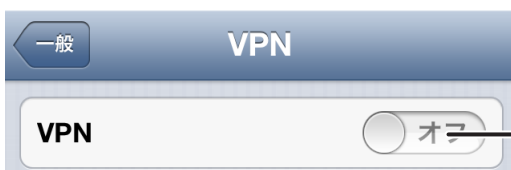
以上で設定は完了です。

iPad/iPhone/iPod touchをお使いの場合

ここでは、iOS 6.0を搭載したiPod touchの場合を例に説明します。

1

2 [一般] > [VPN]の順にタップします。

3

4 [PPTP]をタップし、説明、サーバ、アカウント、パスワードを設定して[保存]をタップします。

説明：

任意の説明を設定します。

サーバ：

「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順11（P18）で取得したURLを設定します。

アカウント：

「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順16（P21）で設定したユーザー名を設定します。

パスワード：

「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順16（P21）で設定したパスワードを設定します。

以上で設定は完了です。

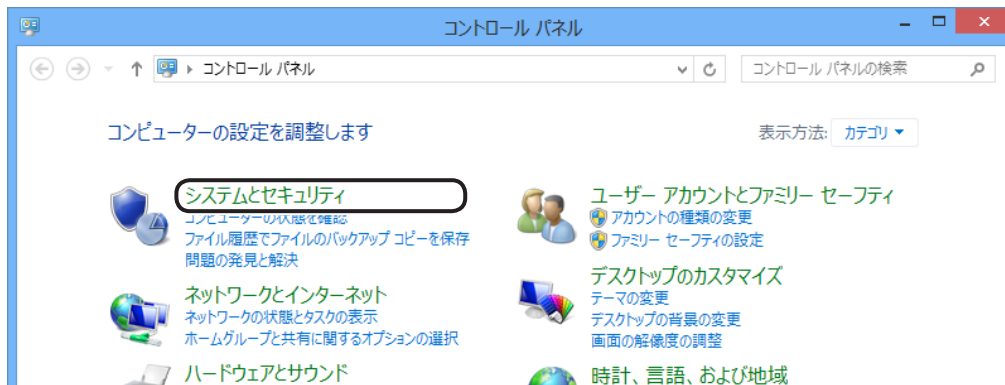
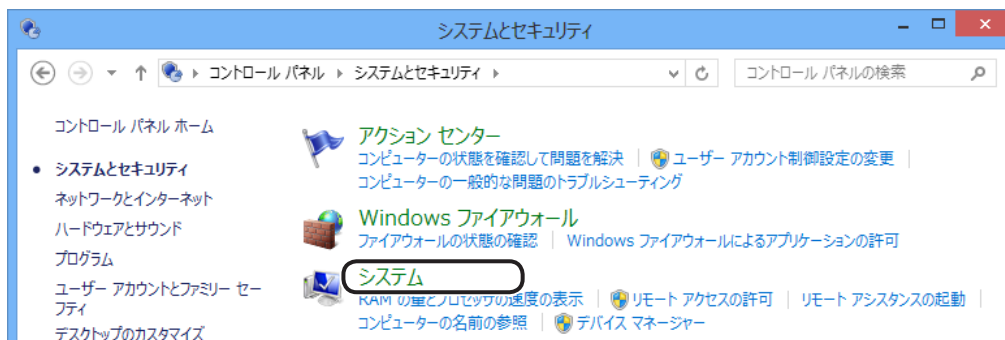
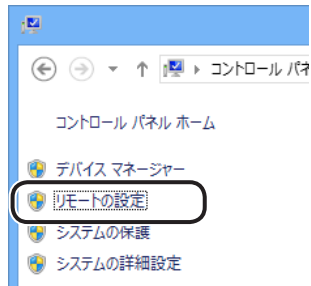
自宅や会社のパソコンを外出先から遠隔操作できるように設定する

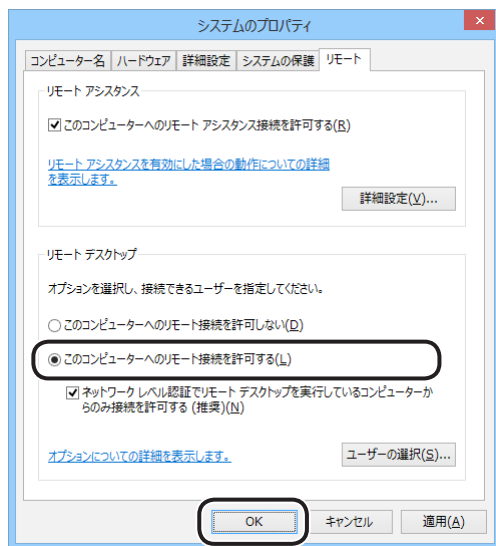
自宅や会社の端末を外出先から遠隔操作できるようにするには、端末側が同機能に対応している必要があります。ここでは例としてWindows 8/7/Vista/XP、Mac OS X 10.6の場合の手順を説明しますが、OSのエディション(Pro、Home Premium、Ultimateなどの種別)の違いによっては、端末側が遠隔操作に対応していないため、下記の通りに設定できない場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows 8をお使いの場合

1　コントロールパネルを表示します。

(パソコンの場合は、画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]を選択します。タブレットでは、画面右端を左にスワイプし[検索]をタップした後、[コントロールパネル]を選択します。)

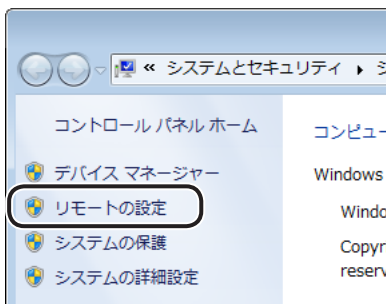
2　[システムとセキュリティ]をクリックします。

3　[システム]をクリックします。

4 [リモートの設定]をクリックします。

メモ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。

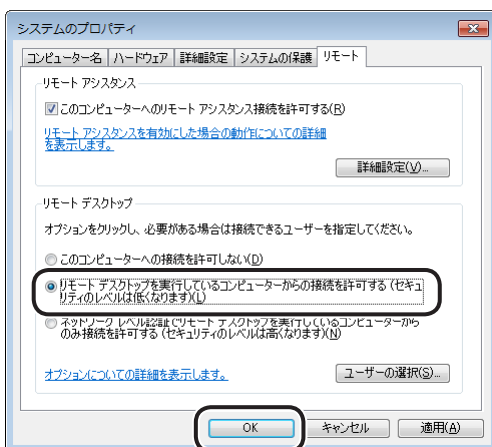
5 「このコンピューターへのリモート接続を許可する」を選択し、[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows 7/Vistaをお使いの場合

1 [スタート]をクリックします。

2 「コンピューター」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。

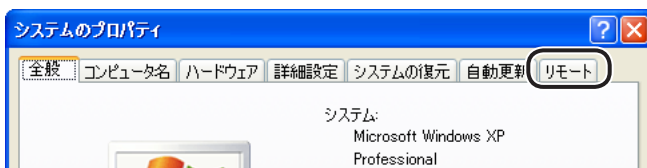
3 [リモートの設定]をクリックします。

メモ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。

4 「リモートデスクトップを実行しているコンピューターからの接続を許可する」を選択し、[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows XPをお使いの場合

1 [スタート]をクリックします。

2 「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。

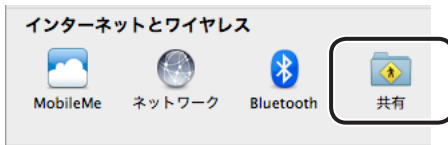
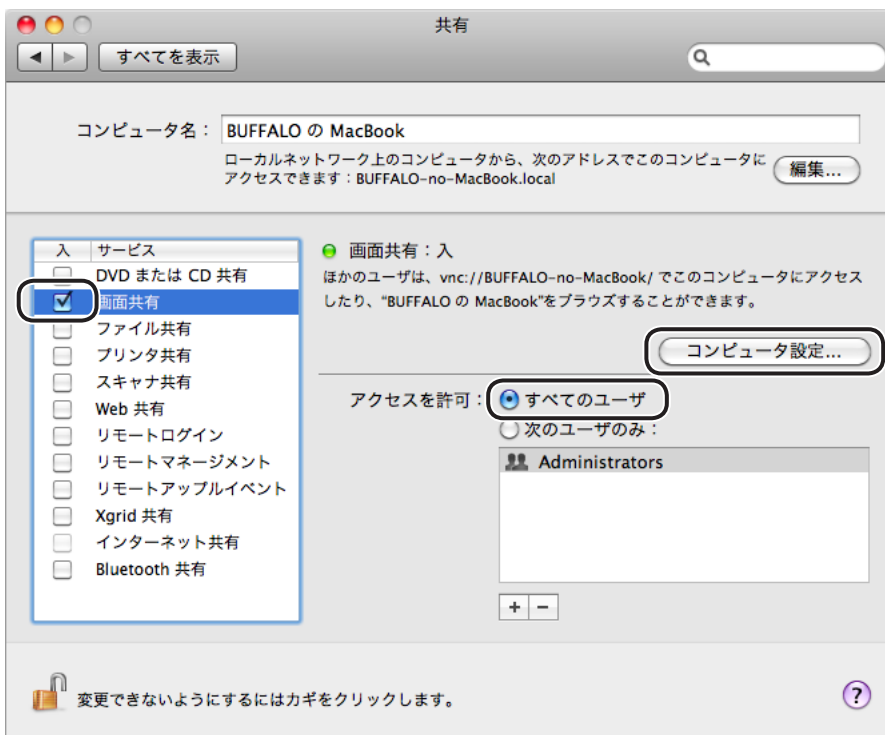
3 [リモート]をクリックします。

4 「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」にチェックマークを付けて、[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

ここでは､Mac OS X 10.6の場合を例に説明します。

1 [アップルメニュー]ー[システム環境設定]をクリックします。

2 「共有」をクリックします。

3 「画面共有」の「入」にチェックマークを付け､「アクセスを許可」を「すべてのユーザ」に設定して､[コンピュータ設定]をクリックします。

4 「ほかのユーザが画面操作の権限を要求することを許可」と「VNC使用者が画面を操作することを許可」にチェックマークを付けて、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

外出先から自宅や会社のネットワークに接続する

メモ ここでの操作は外出先から行います。自宅(LAN内)からは接続できません。

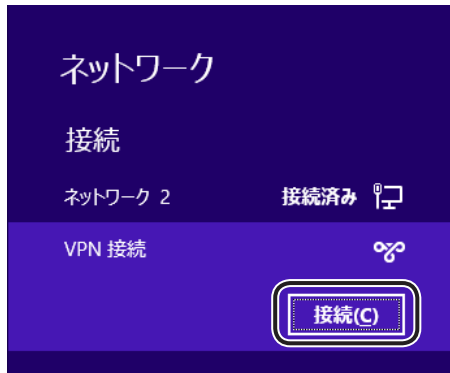
Windows 8をお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。

(パソコンの場合は、画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]を選択します。タブレットでは、画面右端を左にスワイプし[検索]をタップした後、[コントロールパネル]を選択します。)

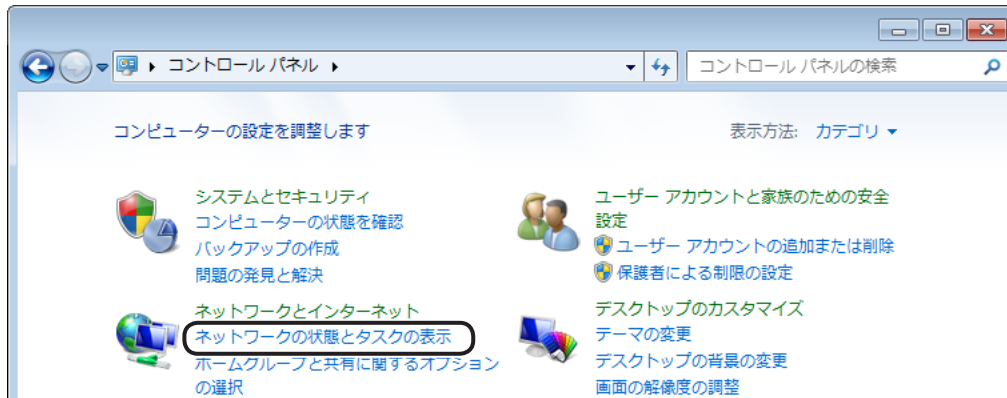
2 [ネットワークとインターネット]をクリックします。

3 [ネットワークに接続]をクリックします。

4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順6（P26）で作成した接続先をクリックし、[接続]をクリックします。

5 「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順16（P21）で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows 7をお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]−[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

3 [ネットワークに接続]をクリックします。

4　「外出先で使用する機器の設定をする」の手順6（P29）で作成した接続先をクリックし、[接続]をクリックします。

5　「本製品の設定（リモートアクセス設定）」の手順16（P21）で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows Vistaをお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

3 [ネットワークに接続]をクリックします。

4　「外出先で使用する機器の設定をする」の手順6(P29)で作成した接続先をクリックし、[接続]をクリックします。

5　「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順16(P21)で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。

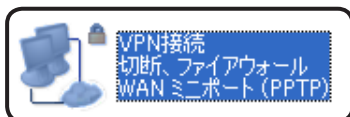
以上で設定は完了です。

Windows XPをお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

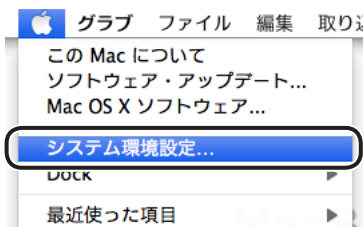
3 [ネットワーク接続]をクリックします。

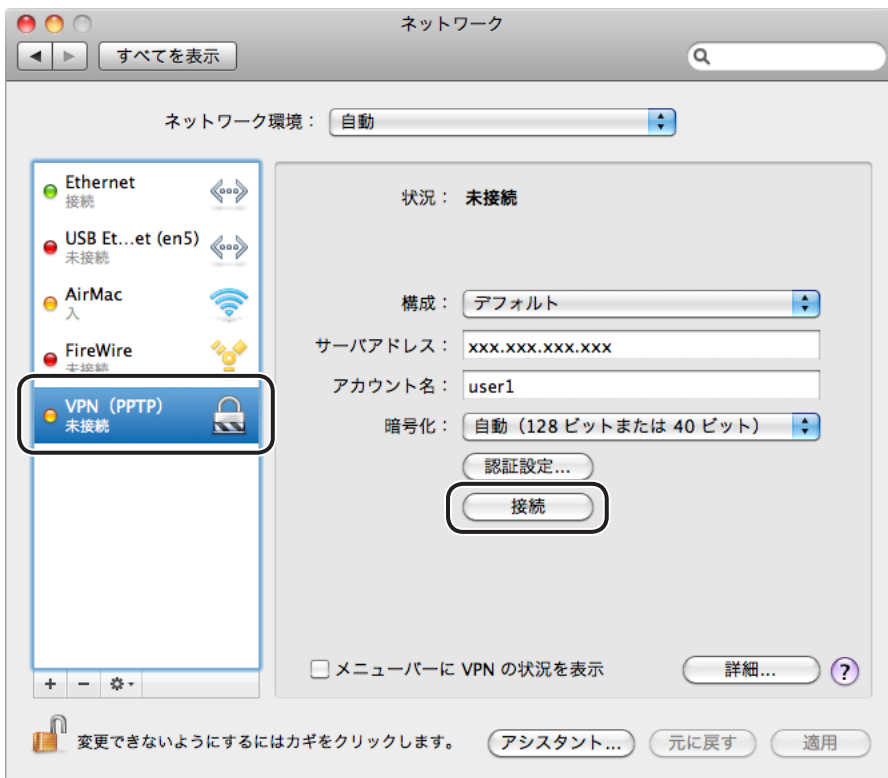
4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順8(P32)で作成した接続先をダブルクリックします。

5 「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順16(P21)で設定したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、Mac OS X 10.6の場合を例に説明します。

1　[アップルメニュー]－[システム環境設定]をクリックします。

2　「ネットワーク」をクリックします。

3　「外出先で使用する機器の設定をする」の手順5(P34)で作成した接続先を選択し、[接続]をクリックします。

以上で設定は完了です。

iPad/iPhone/iPod touchをお使いの場合

ここでは、iOS 6.0を搭載したiPod touchの場合を例に説明します。

1

2 [一般] > [VPN]の順にタップします。

3

以上で設定は完了です。

外出先から自宅や会社の端末を遠隔操作する

メモ ここでは例として、Windows同士、またはMac同士を遠隔操作する方法を説明します。

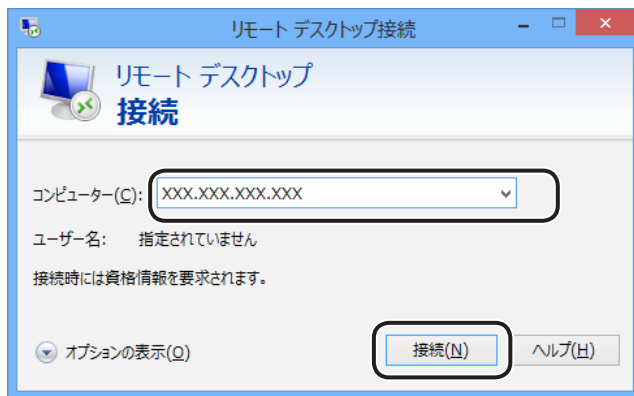
Windows 8から遠隔操作する場合

メモ
- 以下の手順は、Windows 8用「リモートデスクトップ接続(Terminal Server クライアント)」を適用した場合の例です。
- 以下の場合は、遠隔操作できないことがあります。あらかじめご了承ください。
  - Windowsのエディションの違いにより、端末が遠隔操作に対応していない場合。
  - Windowsログイン時のパスワードが設定されていない場合。
  - セキュリティソフトなどがインストールされており、ファイアウォール機能が有効になっている場合など。

1 「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」(P44)の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに接続します。

2 リモートデスクトップ接続を表示します。

(パソコンの場合は、「スタート」画面でキーボードの[Ctrl]キーと[Tab]キーを押して、[リモートデスクトップ接続]を選択します。タブレットでは、画面右端を左にスワイプし、[検索]をタップした後、[リモートデスクトップ接続]を選択します。)

3 操作したい端末のIPアドレスを入力して、[接続]をクリックします。

メモ IPアドレスが分からない場合は、「ネットワークサービス一覧」画面(P60)からIPアドレスを確認できます。

4　操作したい端末に登録されているユーザー名、パスワードを入力して、[OK]をクリックします。接続が完了すると、接続先端末のデスクトップが表示されます。

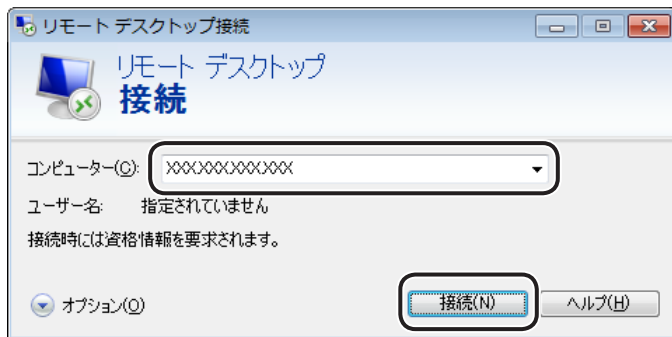
以上で設定は完了です。

Windows 7/Vista/XPから遠隔操作する場合

メモ
- 以下の手順は、Windows 7/Vista/XP用「リモートデスクトップ接続（Terminal Server クライアント 6.0）」を適用した場合の例です。
- 以下の場合は、遠隔操作できないことがあります。あらかじめご了承ください。
  - Windowsのエディションの違いにより、端末が遠隔操作に対応していない場合。
  - Windowsログイン時のパスワードが設定されていない場合。
  - セキュリティソフトなどがインストールされており、ファイアウォール機能が有効になっている場合など。

1 **「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」（P44）の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに接続します。**

2 **[スタート]ー[（すべての）プログラム]ー[アクセサリ]ー[リモートデスクトップ接続]をクリックします。**

3 **操作したい端末のIPアドレスを入力して、[接続]をクリックします。**

メモ IPアドレスが分からない場合は、「ネットワークサービス一覧」画面（P60）からIPアドレスを確認できます。

4 **操作したい端末に登録されているユーザー名、パスワードを入力して、[OK]をクリックします。接続が完了すると、接続先端末のデスクトップが表示されます。**

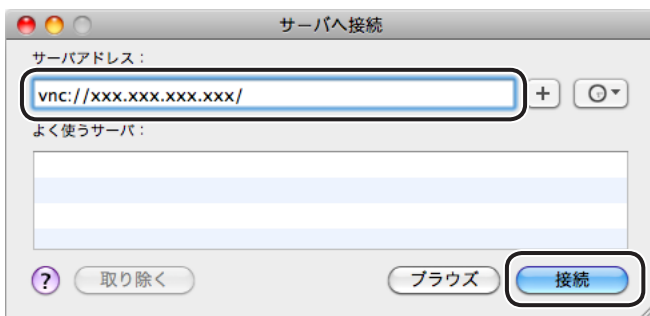
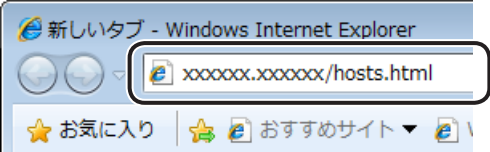
以上で設定は完了です。

Mac OS Xから遠隔操作する場合

ここでは、Mac OS X 10.6の場合を例に説明します。

1

[移動]－[サーバへ接続]をクリックします。

2 サーバアドレス欄に「vnc://遠隔操作対象のMacのIPアドレス/」を入力し、[接続]をクリックします。

3 「登録ユーザとして」を選択し、遠隔操作対象のMacに設定されているユーザー名とパスワードを入力して、[接続]をクリックします。

以上で設定は完了です。

外出先から自宅や会社のファイルサーバーにアクセスする

1 「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」(P44)の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに接続します。

2 Webブラウザーを起動し、アドレス欄に「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15(P21)で設定した設定用ホスト名を「設定用ホスト名/hosts.html」の形式で入力し、[Enter]キーを押します。

3 ネットワークサービス一覧の画面が表示されたら、「SHARE」アイコンをクリックします。

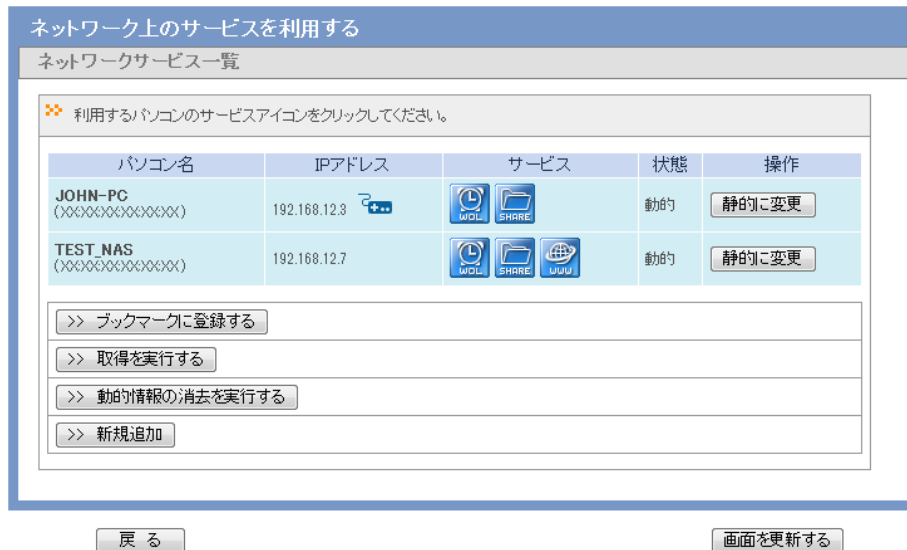
メモ アクセスしたい機器が表示されない場合は、[取得を実行する]をクリックしてください。しばらくすると、一覧が更新されます。

4 ファイルサーバーの共有フォルダーが表示されたら、アクセスが可能になります。

メモ ファイルサーバーにアクセスできない場合は、手順２の画面でアドレス欄にアクセスしたいファイルサーバーのIPアドレス(例:¥¥192.168.12.7など)を入れて、[Enter]キーを押してください。

以上で設定は完了です。

ネットワークサービス一覧画面の機能について

ネットワークサービス一覧画面では、以下の機能を使用することができます。

アイコン	名称	機能
	Wake on LAN	クリックすると、Wake on LANパケットを送信できます。これにより、Wake on LAN機能に対応したパソコンが本製品に接続されている場合は、電源をONにすることができます。(*1)
	ファイル共有	クリックすると、パソコンやファイルサーバーの共有フォルダーにアクセスできます。(*2)
	WWWサーバー	クリックすると、WWWサーバー(*3)にアクセスできます。
	FTPサーバー	クリックすると、ブラウザーからFTPサーバーへアクセスできます。
	リモートデスクトップ	このアイコンが表示されているパソコンは、リモートデスクトップ機能を使用することができます。(*4)

*1 端末がWake on LAN機能に対応していても、端末のBIOS設定でWake on LAN機能が無効になっている場合は、電源をONにすることはできません。

*2 お使いのブラウザーによっては、アイコンをクリックしても共有フォルダーが表示されないことがあります。

*3 当社製LinkStationやTeraStationが接続されている場合は、アイコンをクリックすることでLinkStation/TeraStationの設定画面を表示することができます。

*4 リモートデスクトップアイコンはクリックできません。

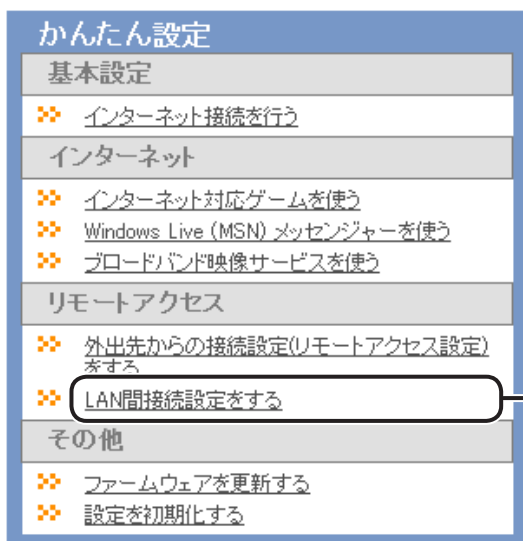
Chapter 3 - ネットワーク同士の接続設定(LAN間接続)

本章では、本社ー支社間などの各拠点のネットワーク同士を接続するための設定を説明します。
以下の設定の前に、別紙の「らくらく！セットアップシート」を参照して、本製品の初期設定を行ってください。初期設定完了後、インターネットに接続できることを確認したら、以下の設定を行ってください。

本社側の設定

拠点間通信ができるように、本製品を設定します。

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2

「LAN間接続設定をする」をクリックします。

3 「本社側(サーバー)設定を行う」をクリックします。

4 「設定を変更する」をクリックします。

メモ　ここではダイナミックDNSを使用する場合を例に説明します。固定IPアドレスを使用するなど、ダイナミックDNSの設定を行わない場合は、[設定を変更しない]をクリックして、手順15へ進んでください。

5 使用するダイナミックDNSサービスを選択します。
ここでは例として、「バッファローダイナミックDNSサービスを利用する」をクリックします。

戻る

メモ 「バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用する」をクリックした場合は、ユーザー名、パスワード、ホスト名、IPアドレス更新周期などを別途設定し、手順15へ進んでください。

6 [接続]をクリックします。

戻る

7

BUFFALO Dynamic DNS Service

ダイナミックDNS利用 登録受付

登録完了までの道のり: ○→→→→→→→△

バッファロー・ダイナミックDNSサービスをご利用いただくには、まずはじめに対象製品のユーザー登録を行っていただく必要があります。
以下のフォームに必要事項を入力して『登録・再設定』ボタンをクリックするとユーザー登録に進み、ユーザー登録後ダイナミックDNS利用登録に移ります。

*すでにユーザー登録をされている場合
ユーザーID、パスワードまたは電話番号および14桁の製造番号を入力してください。
パスワード登録をされている場合はパスワードを、パスワード登録がお済でない場合は電話番号を入力して『登録・再設定』ボタンをクリックしてください。
※パスワードはこの登録受付からユーザー登録を行うと設定されます。

*ユーザー登録がお済みでない場合
ユーザーID、パスワード、電話番号とも空欄のまま、14桁の製造番号のみを入力し『登録・再設定』ボタンをクリックしてください。

ユーザーID

パスワード　電話番号

14桁の製造番号(必須)

xxxxxxxxxxxxxx

入力いただいた個人情報は、お客様の事前の同意なく第三者への開示を行いません。
また、弊社製品情報(新製品情報、所有製品の機能向上情報等)の提供、製品・サービス向上の為のアンケートのお願い以外には使用いたしませんのでご安心ください。

登録・再設定　リセット

[ユーザーIDを忘れた場合はこちらから確認可能です] [よくある質問]

製造番号（本製品本体のシールに記載されている14桁の数字）を入力します。

すでにBUFFALOダイナミックDNSサービスをご利用の場合は、ユーザーIDとパスワードと製造番号を入力します。

[登録・再設定]をクリックします。

8 「個人・法人」（選択）、「住所」、「氏名・法人名」、「電話番号」、「パスワード」、「電子メールアドレス」を入力し、[登録]をクリックします。

9 登録内容を確認して、[登録]をクリックします。

10 [ダイナミックDNS利用登録開始]をクリックします。

11 会員規約文を確認し、同意できる場合は[同意して登録する]をクリックします。

12

13

BUFFALO Dynamic DNS Service

バッファロー・ダイナミックDNSご登録内容の確認

登録完了までの道のり: ●●●●●● ○△

バッファロー・ダイナミックDNSサービス利用登録が完了しました。
ご登録いただきましたサービスは、ご登録の翌月末まで無償にてご提供いたします。
その後も継続してご利用の場合は別途有償サービス利用のお申し込みをいただく必要があります。
有償サービスのお申し込み方法につきましては、無償提供期間終了前にご登録のe-mailアドレス宛に電子メールにてお知らせいたします。

ご登録内容を下記の通り受け付けました。

[ルータに登録]をクリックします。

15 常に決まったIPアドレスから本製品にアクセスする場合は、「接続元アドレス制限機能」を「使用する」にし、「接続を許可するIPアドレス」を入力して、[新規追加]をクリックします。
不特定の場所から本製品にアクセスする場合は、この設定は行わずに[進む]をクリックします。

ここでは例として、不特定の場所から本製品にアクセスする場合を想定し、この設定は行わずに[進む]をクリックします。

16 支社側のパソコンから本製品にアクセスする際に使用する「設定用ホスト名」を入力して、[進む]をクリックします。

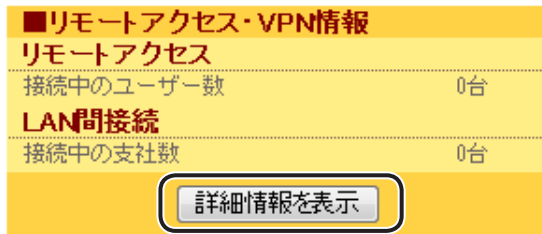
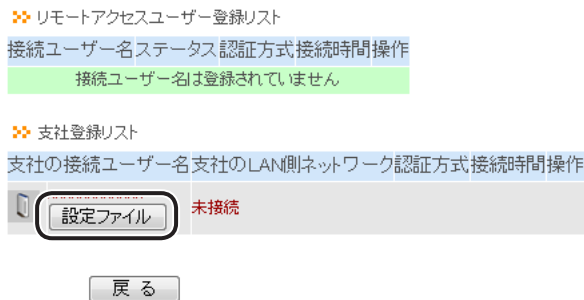
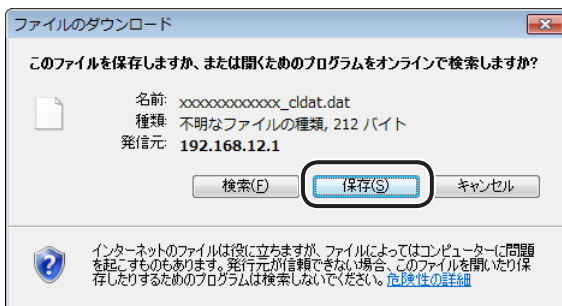
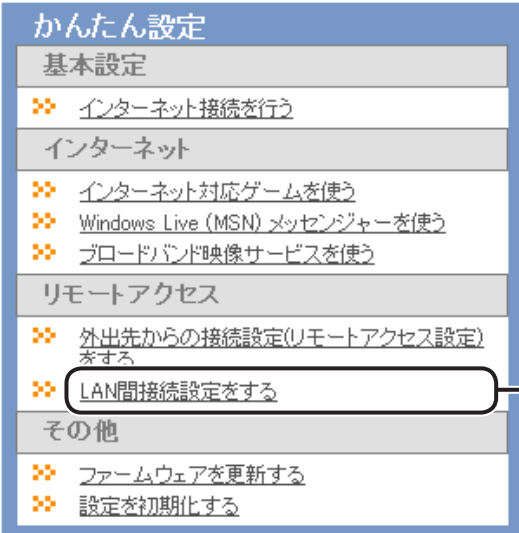
メモ
- 設定用ホスト名とは、支社側のパソコンから本製品にアクセスする際に使用するアドレスです。例えば、設定用ホスト名を「home.vpn」と設定すれば、支社側から「http://home.vpn/hosts.html」というアドレスで、本製品のネットワークサービス一覧画面（P60）を表示できます。
- すでにインターネット上に実在するアドレス（例：86886.jpなど）を設定用ホスト名に設定すると、支社側から本製品にアクセスできないことがあります。

17 支社側からアクセスする際に使用するユーザーIDとパスワード、支社内のローカルIPアドレスを入力して、[新規追加]をクリックします。

18 手順17で設定したユーザーIDが追加されていることを確認し、[進む]をクリックします。

19 設定内容を確認して、[設定]をクリックします。

20 [設定完了]をクリックします。

21 TOP画面に戻ったら、「リモートアクセス・VPN情報」欄の[詳細情報を表示]をクリックします。

22 支社登録リストの[設定ファイル]をクリックします。

23 [保存]をクリックして、設定ファイルを保存します。

24 手順23で保存した設定ファイルを支社に送ります。

以上で設定は完了です。

支社側の設定

支社側は「本社側の設定」の手順23（P71）で作成された設定ファイルを使って、本製品の設定を行います。

1 別紙の「らくらく！セットアップシート」を参照して、本製品の初期設定を行い、インターネットに接続できることを確認します。

2 「設定画面を表示する」（P82）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

3

「LAN間接続設定をする」をクリックします。

4 「支社側（クライアント）設定を行う」をクリックします。

5 [参照]をクリックし、「本社側の設定」の手順23（P71）で作成されたファイル（本社側から送付されたファイル）を選択して、[進む]をクリックします。

6 設定内容を確認して、[設定]をクリックします。

7 [設定]をクリックします。

8 本製品に接続している機器を再起動するなどして、IPアドレスを再取得します。

以上で設定は完了です。

本社ー支社間で通信をする

ここまでの設定が完了したら、本社ー支社間の通信を開始します。
最初に支社側から通信を始めて、本社側のネットワークに接続できるか確認をします。

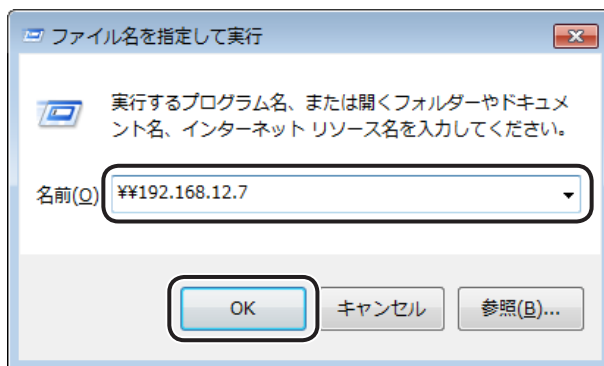
Windows 7/Vistaをお使いの場合

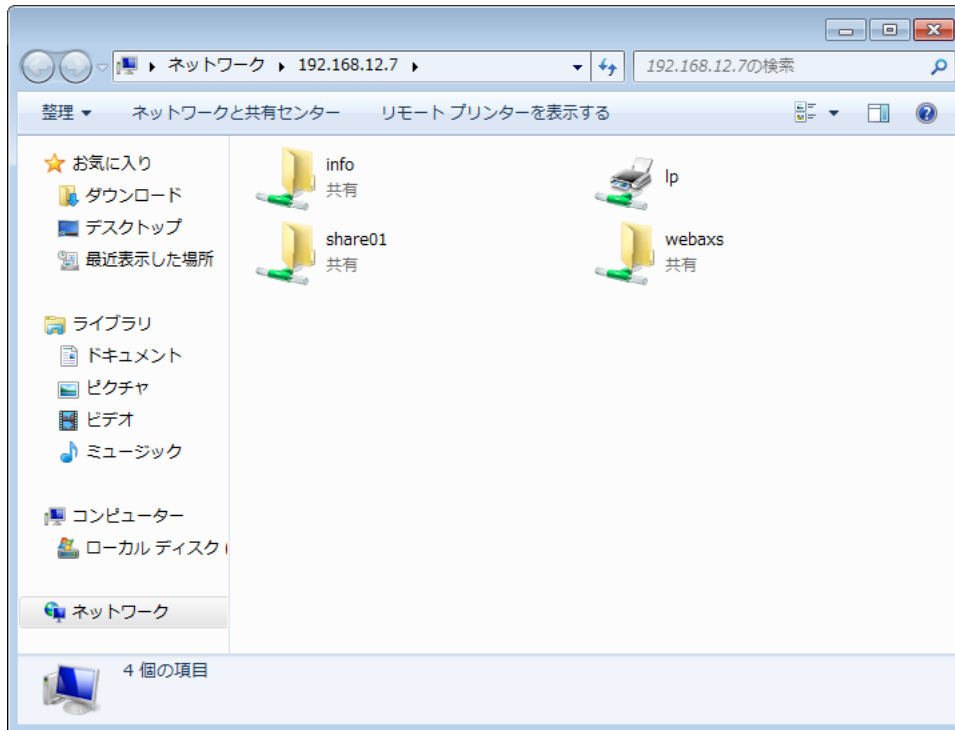
支社側のWindows 7/Vistaパソコンから通信を開始する場合は、以下の手順で行います。

1 「ファイル名を指定して実行」を表示します。

(Windows 8パソコンの場合は、「スタート」画面でキーボードの[Ctrl]キーと[Tab]キーを押して、[ファイル名を指定して実行]を選択します。
Windows 8タブレットでは、画面右端を左にスワイプし、[検索]をタップした後、[ファイル名を指定して実行]を選択します。

Windows 7/Vistaの場合は、[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[ファイル名を指定して実行]をクリックします。)

2 名前欄に本社側のファイルサーバーのIPアドレスなどを入力して、[OK]をクリックします。

メモ 例えば、本社側のファイルサーバーのIPアドレスが192.168.12.7の場合、「¥¥192.168.12.7」と入力して、[OK]をクリックしてください。

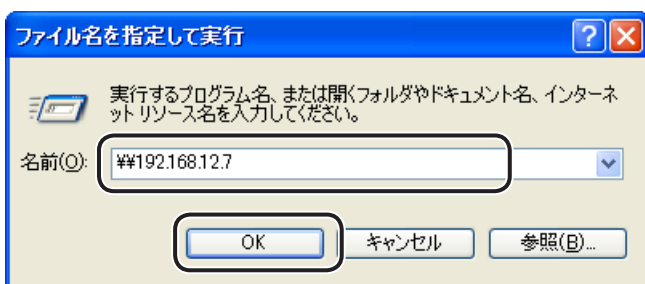
3　ファイルサーバー内のフォルダーが表示され、アクセスできるようになります。

以上で設定は完了です。

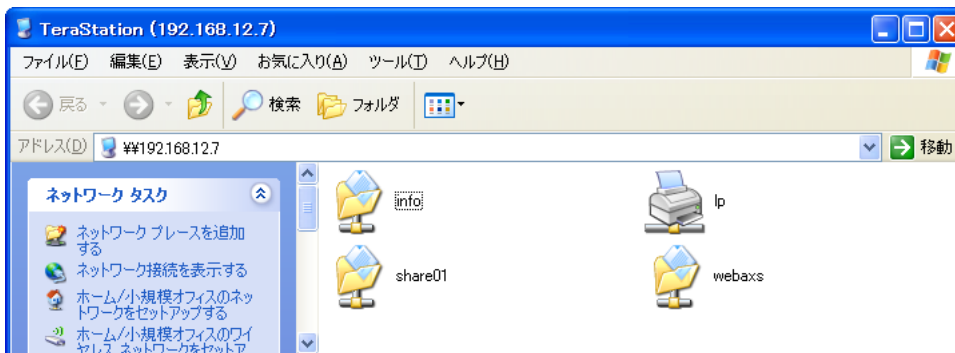
Windows XPをお使いの場合

支社側のWindows XPパソコンから通信を開始する場合は、以下の手順で行います。

1 「ファイル名を指定して実行」を表示します。

([スタート]ー[ファイル名を指定して実行]をクリックします。)

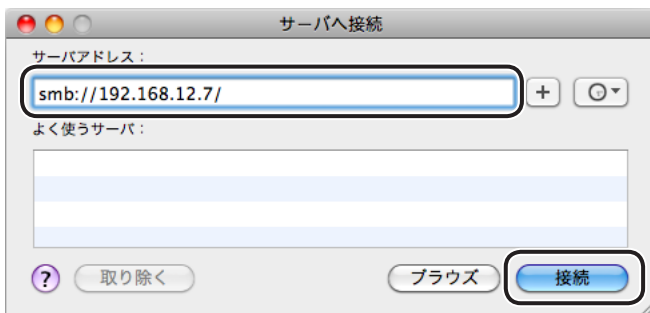
2 名前欄に本社側のファイルサーバーのIPアドレスなどを入力して、[OK]をクリックします。

メモ 例えば、本社側のファイルサーバーのIPアドレスが192.168.12.7の場合、「¥¥192.168.12.7」と入力して、[OK]をクリックしてください。

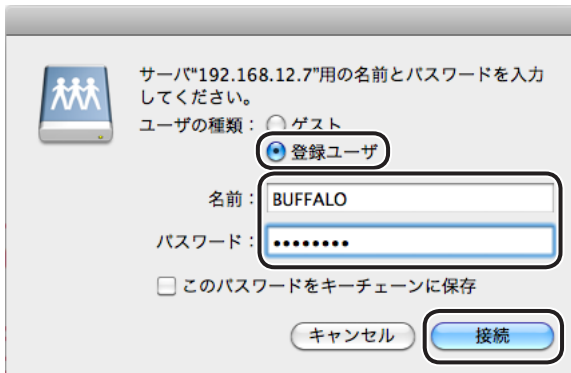
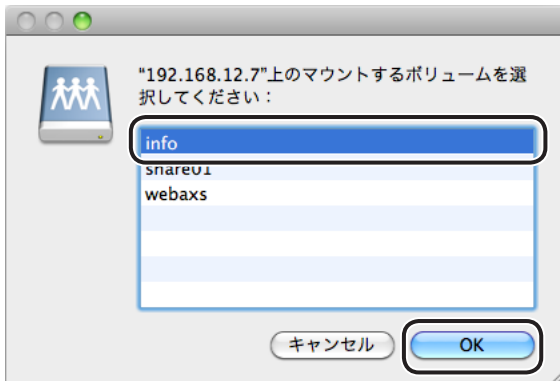
3 ファイルサーバー内のフォルダーが表示され、アクセスできるようになります。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

支社側のMacから通信を開始する場合は、以下の手順で行います。
ここでは、Mac OS X 10.6の場合を例に説明します

1

2 サーバアドレス欄に本社側のファイルサーバーのIPアドレスなどを入力して、[接続]をクリックします。

メモ 例えば、本社側のファイルサーバーのIPアドレスが192.168.12.7の場合、「smb://192.168.12.7/」と入力して、[接続]をクリックしてください。

3 「登録ユーザ」を選択し、ファイルサーバーに登録しているユーザー名とパスワードを入力して[接続]をクリックします。

4 アクセスするフォルダーを選択して[OK]をクリックします。

5 ファイルサーバー内のフォルダーが表示され、アクセスできるようになります。

以上で設定は完了です。

Chapter 4 - 本製品の設定画面

本章では、本製品の設定画面について説明します。

設定画面とは

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

パラメーター	内容
Internet/LAN	Internetポート/LANポートに関する設定画面を表示します。
セキュリティー	クリックすると、セキュリティーに関する設定画面を表示します。
ゲーム＆アプリ	クリックすると、ゲームやアプリケーションで使用する場合の設定画面を表示します。
NAS	クリックすると、USBディスクを接続してNASとして使用する場合の設定画面を表示します。
管理設定	クリックすると、本製品の管理に関する設定画面を表示します。
ステータス	クリックすると、本製品のステータス情報を表示します。
かんたん設定	インターネット接続設定やリモートアクセス設定などの本製品に関する設定をかんたんに行うことができます。
Internet情報	現在のInternet側の接続先情報が表示されます。
リモートアクセス・VPN情報	リモートアクセス・VPNに関して、現在接続しているクライアントの台数などが表示されます。
ダイナミックDNS情報	ダイナミックDNSのドメインや現在の状態が表示されます。
i-フィルター	現在のi-フィルターの状態が表示されます。
エコモード	現在のおまかせ節電機能の状態が表示されます。
ユーティリティー機能	ネットワークサービス一覧画面やメディアサーバーの状態、BitTorrentのダウンロードマネージャーなどを表示するためのボタンが表示されます。

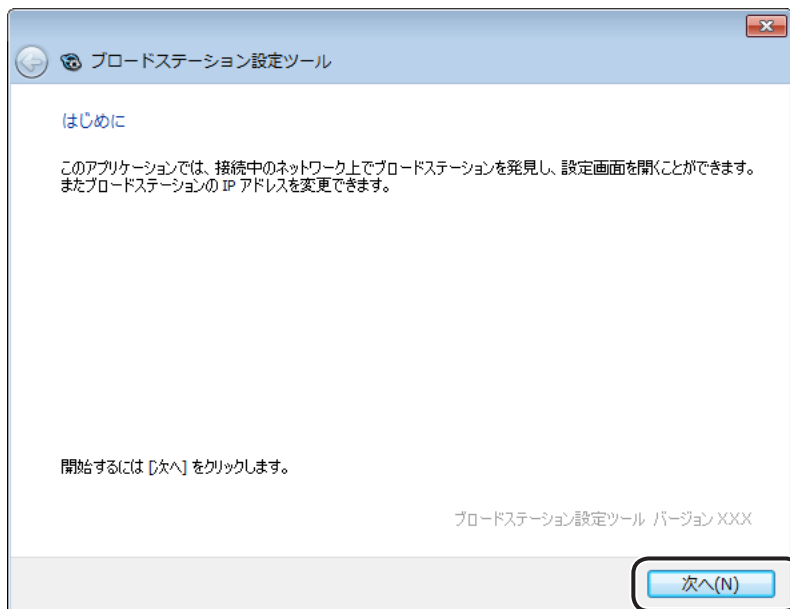
設定画面を表示する

Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合

1 エアステーション設定ツールを起動します。

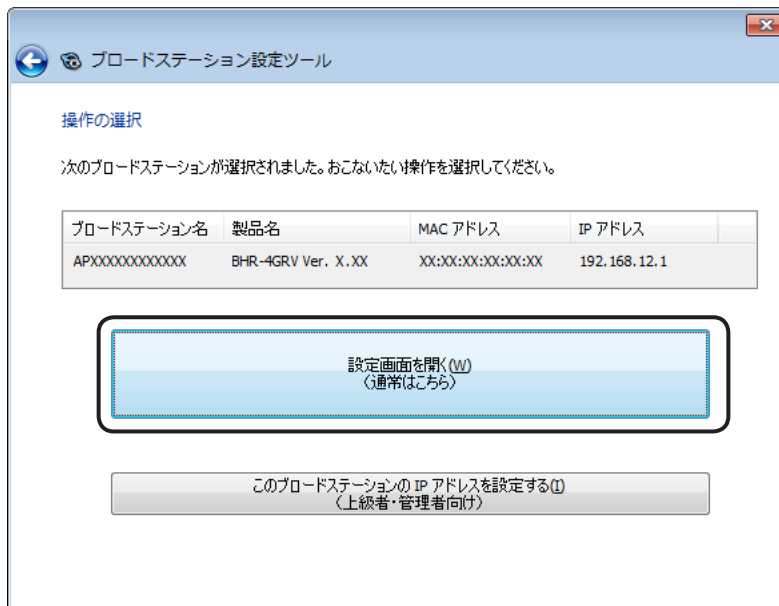
(Windwos 8の場合は、「スタート」画面にある[ブロードステーション設定ツール]を選択します。
Windwos 7/Vista/XPの場合は、[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[BUFFALO]ー[ブロードステーションユーティリティ]ー[ブロードステーション設定ツール]を選択します)

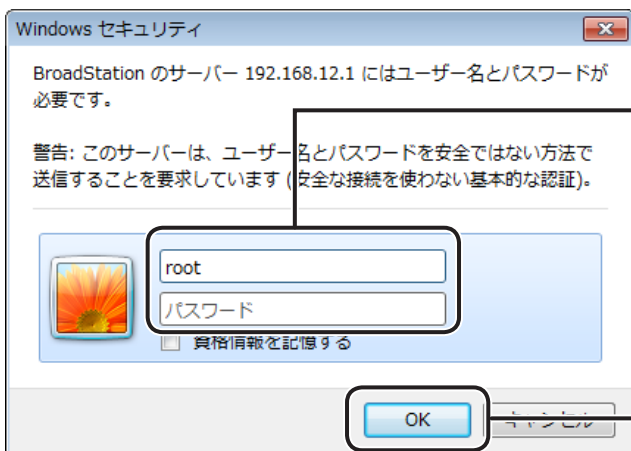
メモ ブロードステーション設定ツールがインストールされていない場合は、別紙の「らくらく！セットアップシート」を参照してインストールしてください。

2 [次へ]をクリックします。

メモ パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。

メモ 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。

メモ 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このパソコンのIPアドレス設定」という画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

5

6 本製品の設定画面が表示されます。

メモ 設定画面のウィンドウの下に、「ブロードステーションの設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、Mac OS X 10.6の場合を例に説明します。

1 付属CDをMacにセットします。

2 デスクトップに表示されるCDのアイコンをダブルクリックします。

3 [Mac]ー[ブロードステーション設定ツール]の順にダブルクリックします。

4 [続ける]をクリックします。

5 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。

メモ 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

6 [設定画面を開く]をクリックします。

メモ 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このMacのIPアドレス設定」という画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

7

8 本製品の設定画面が表示されます。

メモ 設定画面のウィンドウの下に、「ブロードステーションの設定画面を開きました」という画面が表示されています。[終了]をクリックして、画面を閉じてください。

メニュー構成

設定画面のメニュー構成は以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
Internet/LAN		
Internet	Internet側ポートの設定を行う画面です。	P91
PPPoE	PPPoEに関する設定を行う画面です。	P92
DDNS	ダイナミックDNSに関する設定を行う画面です。	P95
PPTPクライアント	PPTPクライアントに関する設定を行う画面です。	P97
PPTPサーバー	PPTPサーバーに関する設定を行う画面です。	P99
LAN	LAN側ポートの設定を行う画面です。	P103
DHCPリース	DHCPリースに関する設定画面です。	P105
アドレス変換	Internet側をインターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。	P106
経路情報	本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。	P107
RIP	RIP(Routing Information Protocol)の設定を行う画面です。	P108
セキュリティー		
ファイアウォール	本製品のファイアウォール機能を設定する画面です。	P109
IPフィルター	LAN側とInternet側の間で通過するパケットに関するIPフィルターの編集を行う画面です。	P111
VPN パススルー	IPv6パススルー、PPPoEパススルー、PPTPパススルーに関する設定を行う画面です。	P112
i-フィルター	ホームページの表示を許可/ブロックする「i-フィルター」に関する設定を行う画面です。	P113
ゲーム&アプリ		
ポート変換	ポート変換に関する設定を行う画面です。	P114
DMZ	LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。	P115
UPnP	UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。	P116
QoS	インターネットへ送信するパケットの優先制御を設定する画面です。	P117

NAS		
ディスク管理	本製品に接続したUSBディスクに関する情報表示や管理を行う画面です。	P118
共有フォルダー	USBディスクへのアクセス制限設定を行う画面です。	P120
ユーザー管理	USBディスク上の共有フォルダーへのアクセスに必要なユーザー名を登録する画面です。	P121
共有サービス	共有サービスの有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P122
Webアクセス	Webアクセス機能に関する設定を行う画面です。	P123
メディアサーバー	メディアサーバー機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P125
BitTorrent	BitTorrent機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P126
管理設定		
本体	本製品の名称を設定する画面です。	P127
パスワード	本製品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。	P128
時刻	本製品の内部時計を設定する画面です。	P129
NTP	本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。	P130
エコ	本製品のおまかせ節電機能の設定を行う画面です。	P131
プリントサーバー	本製品のプリントサーバー機能の設定を行う画面です。	P133
アクセス	本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P134
ログ	syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P135
保存/復元	本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。	P136
初期化/再起動	本製品を初期化したり、再起動するための画面です。	P137
ファーム更新	本製品のファームウェアを更新するための画面です。	P138
ステータス		
システム	本製品のシステム情報を確認する画面です。	P139
ログ	本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。	P140
通信パケット	本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。	P141
クライアントモニター	本製品と通信している機器を確認する画面です。	P141

診断	本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。	P142
ログアウト		
クリックすると本製品の設定画面からログアウトします。		

Internet/LAN

Internet

Internet側ポートの設定を行う画面です。

パラメーター	内容
IPアドレス取得方法	Internet側のIPアドレスの取得方法を指定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。
Internet側MACアドレス	Internet側インターフェースのMACアドレスを設定します。 * 不適切なMACアドレスを設定すると、本製品だけでなく、ネットワーク上の他の機器も使用できなくなります。この設定は、お客様の責任において行ってください。
Internet側MTU値	Internet側インターフェース(Internetポート)で通信を行うときに使用するMTUを578～1500バイトの範囲で設定します。

PPPoE

PPPoEに関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
デフォルトの接続先	PPPoE接続先リストで複数の接続先を登録している場合、ここで選択した接続先が優先されます。デフォルト以外の接続先を用いるときは、PPPoEの接続先経路設定を別途行う必要があります。
IP Unnumbered使用時の接続先	「IPアドレス取得方法」(P91)で「IP Unnumberedを使用する」を指定した際に使用する接続先を、PPPoE接続先リストに登録されている接続先の中から選択します。
PPPoE接続先リスト	PPPoEの接続先の編集ができます。最大5セッションまで登録可能です。
[接続先の編集]	クリックすると、接続先の設定を編集する画面が表示されます。

パラメーター	内容
PPPoE接続先リスト	[接続先の編集]をクリックすると表示されます。 **接続先名称** 接続先を識別するための名称を32文字までの半角英数字記号で入力します。 **接続先ユーザー名** PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のユーザー名を64文字までの半角英数字記号で設定します。 **接続先パスワード** PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のパスワードを64文字までの半角英数字記号で設定します。 **サービス名** プロバイダーからサービス名の指定がある場合のみ64文字までの半角英数字記号で設定します。 プロバイダーから指定されなければ、空欄のままにします。 **接続方法** 本製品がプロバイダーに接続するタイミングを指定します。 **自動切断** 接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を0～1440分の範囲で設定します。 **認証方法** プロバイダーとの認証方法を設定します。 **MTU値** PPPoE上で、通信を行うときに使用するMTU値を578～1492バイトの範囲で設定します。 **MRU値** PPPoE上で通信を行うときに使用するMRU値を578～1492バイトの範囲で設定します。 **キープアライブ** キープアライブを有効にすると、本製品はPPPoEサーバーとの接続を維持するために、LCPエコーリクエストを１分に１度発行します。このとき、6分以上サーバーの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。頻繁にPPPoE接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバーである可能性があるため、「無効」に設定してください。

パラメーター	内容
接続先経路の表示	接続先経路を設定すると、設定した情報が表示されます。
[接続先経路の編集]	クリックすると、接続先経路を編集する画面が表示されます。
接続先経路の新規追加	[接続先経路の編集]をクリックすると表示されます。 **接続先** 「宛先アドレス」や「送信元アドレス」が一致する通信の場合にPPPoE接続を行う接続先です。PPPoE接続先リストに登録されている接続先から選択します。 **宛先アドレス** 通信の宛先アドレスです。このアドレス宛へ通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。 **送信元アドレス** 通信の送信元アドレスです。この送信元アドレスから通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。

DDNS

ダイナミックDNSに関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
ダイナミックDNS機能	ダイナミックDNSサービスプロバイダーを「BUFFALOダイナミックDNS」「DynDNS」「TZO」から選択します。
登録/変更設定 * BUFFALOダイナミックDNS選択時のみ	[登録/設定変更を行う]をクリックすると、バッファローサイトに接続します。画面上の手続きに従って、BUFFALOダイナミックDNSサービスの登録を行ってください。
登録ユーザーID * BUFFALOダイナミックDNS選択時のみ	BUFFALOダイナミックDNSサービスに登録されているユーザーIDが表示されます。
登録情報の削除 * BUFFALOダイナミックDNS選択時のみ	[登録情報を削除する]をクリックすると、BUFFALOダイナミックDNSサービスの登録情報が削除されます。
ユーザー名 * DynDNS選択時のみ	DynDNSに登録したユーザー名を入力します。
パスワード * DynDNS選択時のみ	DynDNSに登録したパスワードを入力します。
ホスト名 * DynDNS選択時のみ	DynDNSに登録したホスト名を入力します。

パラメーター	内容
Emailアドレス * TZO選択時のみ	TZOに登録したEmailアドレスを入力します。
TZOキー * TZO選択時のみ	TZOに登録したTZOキーを入力します。
ドメイン名 * TZO選択時のみ	TZOに登録したドメイン名を入力します。
IPアドレス更新周期	DynDNSまたはTZOにIPアドレスを通知する周期を指定します。
Internet側IPアドレス	InternetポートのIPアドレスが表示されます。
ドメイン名	ダイナミックDNSサービスプロバイダーから割り当てられたドメイン名が表示されます。
状態	ダイナミックDNSサービスの状態が表示されます。

PPTPクライアント

PPTPクライアントに関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
PPTPクライアント機能	PPTPクライアント機能を使用するかどうかを設定します。
接続先サーバーアドレス	接続するPPTPサーバーのドメイン名もしくはIPアドレスを入力します。
接続先ユーザー名	PPTPの認証に使用するユーザー名を64文字までの半角英数字記号で設定します。
接続先パスワード	PPTPの認証に使用するパスワードを64文字までの半角英数字記号で設定します。
接続方法	本製品がPPTPサーバーに接続するタイミングを指定します。

パラメーター	内容
自動切断	接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を0〜1440分の範囲で設定します。
認証方法	PPTPサーバーとの認証方法を設定します。
MTU値	PPTP上で、通信を行うときに使用するMTU値を578〜1500の範囲で設定します。
MRU値	PPTP上で通信を行う際に使用するMRU値を578〜1500の範囲で設定します。
キープアライブ	キープアライブを有効にすると、本製品はPPTPサーバーとの接続を維持するために、LCPエコーリクエストを１分に１度発行します。このとき、6分以上サーバーの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。頻繁にPPTP接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバーである可能性があるため、「無効」に設定してください。
RIP送受信機能	RIP情報を使用して、PPTPサーバーと経路情報の送信や受信をおこなうかどうかを設定します。
デフォルトルート	Internet側にアクセスする際、必ずPPTPサーバーを経由させるかどうかを設定します。
接続先ネットワークの表示	PPTPでの接続先に存在するネットワークの一覧を表示します。新しくネットワークを登録する場合は、[接続先ネットワークの編集]をクリックして、「宛先アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。

PPTPサーバー

PPTPサーバーに関する設定を行う画面です。

TOP | Internet/LAN | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス

Internet | PPPoE | DDNS | PPTPクライアント | PPTPサーバー | LAN | DHCPリース | アドレス変換 | 経路情報 | RIP

ログアウト

LAN側IPアドレスが「192.168.12.1」に設定されている為、
バッファロー製ルーターに接続されたパソコンからアクセスする際、
LAN内のパソコンにアクセスできない可能性があります。
LAN側IPアドレス、及び、割り当てIPアドレスの変更をお勧めします。

自動入力	お勧めの値を入力する
LAN側IPアドレス	IPアドレス 192.168.12.1 サブネットマスク 255.255.255.0
DHCPサーバー機能	☑使用する
割り当てIPアドレス	192.168.12.2 から 64 台

PPTPサーバー機能	☑使用する
認証方式	MS-CHAPv2認証(40/128bits暗号鍵)

[拡張設定]

サーバーIPアドレス	◉ 自動設定 (172.31.183.1) ○ 手動設定 192.168.11.1
クライアントIPアドレス	◉ 自動設定 (172.31.183.2 から 10 台) ○ 手動設定 192.168.11.100 から 10 台
DNSサーバーのIPアドレス	◉ ブロードステーションのLAN側IPアドレス ○ 手動設定 192.168.11.1 ○ 通知しない
WINSサーバーのIPアドレス	
MTU/MRU値	1396
接続可能アドレス制限	☐使用する

設定

PPTP接続ユーザーの表示

接続ユーザー名	接続状態	IPアドレス	操作	RIP送信機能
PPTP接続ユーザーは登録されていません				

PPTP接続ユーザーの編集

PPTP接続ユーザー経路の表示

接続ユーザー名	宛先アドレス	サブネットマスク
PPTP接続ユーザー経路は登録されていません		

PPTP接続ユーザー経路の編集

接続可能アドレスの表示

IPアドレス
接続可能アドレスは登録されていません

接続可能アドレスの編集

現在の状態を表示

PPTPサーバー設定

PPTPサーバーの設定です。
PPTP(Point to Point Tunneling Protocol)サーバー機能を使用することで、インターネット(Internet側)から、本製品や、Windowsパソコンの PPTPクライアントから、LAN側にアクセスする事ができるようになります。

注意

IPフィルタールールをご利用の場合、GREプロトコル(プロトコル番号47)、及び、TCPの1723番ポートをフィルタリングする設定を行うと、正常に動作しない場合があります。また、同様にInternet側に前述のプロトコル/TCPポートをフィルタリングしているルーターがある場合、本機能はご利用になれませんので、ご注意ください。

自動入力

ボタンを押すことで、他のバッファロー製ルーター機器と重複し難い LAN側IPアドレスをランダムに生成します。

LAN側IPアドレス

ブロードステーションのLAN側IPアドレスを設定します。
初期値は、192.168.12.1です。
もし、すでに構築されたLANへブロードステーションを追加するときは、他のネットワーク機器が使用していないIPアドレスを指定する必要があります。

サブネットマスク

ブロードステーションのLAN側サブネットマスクを選択します。
初期値は、255.255.255.0です。
もし、すでに構築されたLANへブロードステーションを追加するときは、そのLANのサブネットマスクを指定する必要があります。

DHCPサーバー機能

DHCPサーバー機能を使用する･使用しないを指定します。
初期値は、[使用する]です。
すでに構築されているLANへブロードステーションを追加する場合に LAN上に他のDHCPサーバーがすでに動作しているときは、DHCPサーバー機能を[使用しない]に設定してください。
DHCPサーバー機能を[使用する]場合、割り当てIPアドレス がすでにLANで使用しているIPアドレスと重複しないように指定する必要があります。

パラメーター	内容
自動入力	[お勧めの値を入力する]をクリックすると、当社製ルーター機器と重複し難い LAN側IPアドレスをランダムに生成します。
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー(IPアドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを設定します。
割り当てIPアドレス	DHCPサーバー機能で割り当てるIPアドレスの範囲とその範囲から除外するIPアドレスを設定します。(256台まで設定できます)
PPTPサーバー機能	PPTPサーバー機能を使用するかどうかを設定します。
認証方式	PPTPクライアントが接続してきた際に使用する認証方式を設定します。
サーバーIPアドレス	PPTPクライアントが接続した際、クライアントに通知するサーバー側のIPアドレスを設定します。
クライアントIPアドレス	PPTPクライアントが接続した際、クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲を設定します。
DNSサーバーのIPアドレス	PPTPクライアントに通知するDNSサーバーアドレスを設定します。
WINSサーバーのIPアドレス	PPTPクライアントに通知するWINSサーバーアドレスを設定します。
MTU/MRU値	PPTP上で、通信を行う際に使用するMTU/MRU値を578～1500バイトの範囲で設定します。
接続可能アドレス制限	特定のアドレス以外からのPPTPサーバーへの接続を拒否するかどうかを設定します。
PPTP接続ユーザーの表示	PPTP接続ユーザー情報の確認と編集ができます。最大10ユーザまで登録可能です。
[PPTP接続ユーザーの編集]	クリックすると、PPTP接続ユーザー情報を編集する画面が表示されます。

パラメーター	内容
PPTP接続ユーザーの新規追加	[PPTP接続ユーザーの編集]をクリックすると表示されます。 **ユーザー名** PPTPクライアントから本商品に接続する際に使用するユーザー名を半角英数字、および「"」、「'」、「/」、スペースを除く半角記号を16文字までで入力します。 **パスワード** PPTPクライアントから本商品に接続する際に使用するパスワードを半角英数字、および「"」、「'」、「/」、スペースを除く半角記号を16文字までで入力します。 **IPアドレス割り当て方法** PPTPクライアントから本商品に接続した際に、PPTPクライアントに割り当てるIPアドレスの割り当て方法を指定します。 **RIP送信機能** 登録しているユーザーがPPTP接続をしてきた際、RIPを使用して経路情報を送信するかどうかを設定します。
PPTP接続ユーザーの表示/操作	登録したPPTP接続ユーザー情報の確認と編集ができます。
PPTP接続ユーザー経路の表示	PPTP接続ユーザー経路情報の確認と編集ができます。1ユーザーあたり10個の経路(最大100経路)まで登録可能です。
[PPTP接続ユーザー経路の編集]	クリックすると、PPTP接続ユーザー経路情報を編集する画面が表示されます。
PPTP接続ユーザー経路の新規追加	[PPTP接続ユーザー経路の編集]をクリックすると表示されます。 **接続ユーザー名** 経路を登録するユーザーを選択します。 **宛先アドレス** 宛先のIPアドレスまたはネットワークアドレスを設定します。
PPTP接続ユーザー経路の表示/操作	登録したPPTP接続ユーザー経路情報の確認と編集ができます。
接続可能アドレスの表示	PPTP接続の際、接続を許可するアドレスの確認と編集ができます。最大10アドレスまで登録可能です。

パラメーター	内容
[接続可能アドレスの編集]	クリックすると、接続可能アドレスを編集する画面が表示されます。
接続可能アドレスの新規追加	[接続可能アドレスの編集]をクリックすると表示されます。 **IPアドレス** PPTP接続の際、接続を許可するアドレスを設定します。
接続可能アドレスの表示/操作	登録した接続可能アドレスの確認と編集ができます。

LAN

LAN側ポートの設定を行う画面です。

パラメーター	内容
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー（IPアドレス自動割り当て）機能を使用するかどうかを設定します。
割り当てIPアドレス	DHCPサーバー機能で割り当てるIPアドレスの範囲とその範囲から除外するIPアドレスを設定します。

パラメーター	内容
LAN側IPアドレス （IP Unnumbered用）	IP Unnumberedを利用するときに使用するLAN側IPアドレスを設定します。 * 通常のLAN側のIPアドレスを持つパソコンと、IP Unnumbered用のLAN側IPアドレスを持つパソコン間では通信を行うことができません。
拡張設定	「表示する」を選択すると、DHCPサーバーの拡張設定項目が表示されます。
リース期間	DHCPサーバー機能で割り当てたIPアドレスの有効期間を設定します。
デフォルトゲートウェイの通知	DHCPサーバー機能で通知するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
WINSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するWINSサーバーのIPアドレスを設定します。
ドメイン名の通知	DHCPサーバー機能で通知するドメイン名を設定します。

DHCPリース

DHCPリースに関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
IPアドレス	手動リースするIPアドレスを入力します。本製品のLANポートのネットワークアドレスに含まれないIPアドレスを設定することはできません。
MACアドレス	パソコンを識別するMACアドレスを入力します。
リース情報	現在のリース情報が表示されます。 自動リースされたIPアドレスは、[手動割当に変更]をクリックすると、手動リースに変更することができます。

アドレス変換

Internet側をインターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。
高速アドレス変換	高速アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。通常は「使用する」のままお使いください。万一、通信ができないなどの問題が発生した場合は、「使用しない」に設定してください。
破棄パケットのログ出力	アドレス変換時のエラーなどにより破棄されたパケットについてログを出力するかどうかを設定します。

経路情報

本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。

パラメーター	内容
宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを設定します。
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越えるルーター数)を設定します。
経路情報	手動で追加したルーティングテーブルを確認することができます。

RIP

RIP(Routing Information Protocol)の設定を行う画面です。

パラメーター	内容
Internet側RIP送信	本製品がInternet側に送信するRIP情報の設定をします。
Internet側RIP受信	本製品がInternet側から受信するRIP情報の設定をします。
LAN側RIP送信	本製品がLAN側に送信するRIP情報の設定をします。
LAN側RIP受信	本製品がLAN側から受信するRIP情報の設定をします。

セキュリティー

ファイアウォール

本製品のファイアウォール機能を設定する画面です。

パラメーター	内容
ログ出力	ファイアウォール機能のログを出力するかどうかを設定します。
簡易ルール	簡易フィルターを使用するかどうかを設定します。 各フィルターの内容は以下の通りです。 **NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する** 有効にすると、Internet側からLAN側およびLAN側からInternet側へのMicrosoftネットワーク共有機能は使用できなくなります。「IPアドレス取得方法」（P91）で「PPPoEクライアント機能を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果がPPPoEだった場合に限り、PPPoE の接続先ごとに設定を行うことができます。

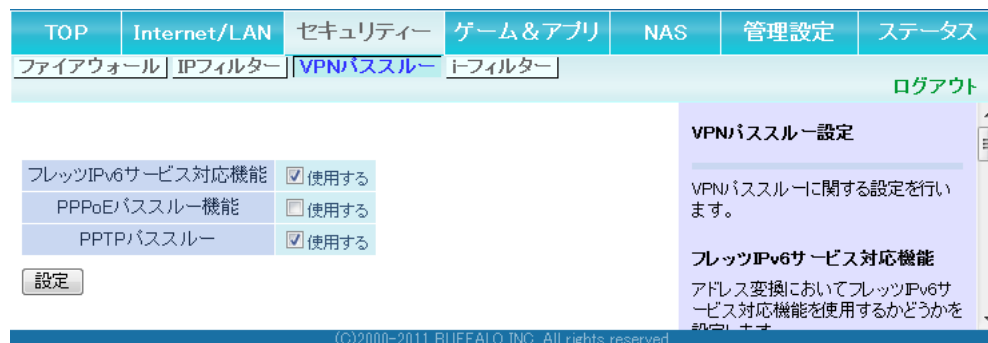
パラメーター	内容
	IDENTの要求を拒否する 有効にすると、Internet側からのIDENTの認証要求に対して拒否パケットを送ります。メール送信、ftp、ブラウザ等のネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。アドレス変換設定で、IDENTの要求をLAN側パソコンに転送する設定（DMZまたはTCPポート:113）になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。 **Internet側からのPINGに応答しない** 有効にすると、Internet側からのPINGに応答しなくなります。「IPアドレス取得方法」（P91）で「PPPoEクライアント機能を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果がPPPoEだった場合に限り、PPPoE の接続先ごとに設定を行うことができます。

IPフィルター

LAN側とInternet側の間で通過するパケットに関するIPフィルターの編集を行う画面です。

パラメーター	内容
ログ出力	IPフィルター機能のログを出力するかどうかを設定します。
動作	対象となるパケットの処理方法を指定します。
方向	対象となるパケットの通信方向を指定します。
IPアドレス	対象となるパケットの送信元IPアドレスと宛先IPアドレスを指定します。
プロトコル	対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。
IPフィルター登録情報	登録されているIPフィルターを一覧で表示します。

VPNパススルー

IPv6パススルー、PPPoEパススルー、PPTPパススルーに関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
フレッツIPv6サービス対応機能	アドレス変換においてフレッツIPv6サービス対応機能を使用するかどうかを設定します。
PPPoEパススルー	PPPoEブリッジ機能を使用するかどうかを設定します。 PPPoEブリッジ機能を使用すると、PPPoEパケットがInternet - LAN間ですべて通過可能となり、LAN側に接続したパソコンでPPPoEプロトコルを使用してプロバイダーからIPアドレスを自動取得することができるようになります。
PPTPパススルー	アドレス変換において、PPTPパススルー機能を使用するかどうかを設定します。

i-フィルター

ホームページの表示を許可/ブロックする「i-フィルター」に関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
[「i-フィルター」サービスページ >>]	「i-フィルター」を利用する為のユーザー登録を行う機能です。
「i-フィルター」機能	チェックをすることで有効になります。無効時は他の設定機能を表示しません。管理パスワードの入力によって閲覧禁止が解除出来るようになりますので管理パスワードの設定を推奨します。管理設定メニューのパスワードから変更可能です。
有効期限	「i-フィルター」機能有効時、かつ認証サーバーより、契約期間が取得済みの場合、YYYY/MM/DDの形式で表示します。
閲覧禁止カテゴリー	閲覧禁止カテゴリーを設定します。
フィルター除外パソコンリスト	フィルターの除外パソコンの一覧が表示されます。

ゲーム&アプリ

ポート変換

ポート変換に関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
グループ	登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択して新規グループ名を入力すると、新たなグループを作成します。英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。
Internet側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のIPアドレスを設定します。
プロトコル	ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のプロトコルを設定します。
LAN側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のIPアドレスを設定します。
LAN側ポート	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のポート番号(1～65535)を設定します。

パラメーター	内容
ポート変換登録情報	現在設定されているポート変換テーブルの有効/無効の指定を行います。

DMZ

LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

パラメーター	内容
DMZのアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先IPアドレスを設定します。 (RIPプロトコル(UDPポート番号520)のパケットは、転送されません)

UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
UPnP機能	Universal Plug and Play(UPnP)機能を使用するかどうかを設定します。

QoS

インターネットへ送信するパケットの優先制御を設定する画面です。

パラメーター	内容
インターネットへの送信用QoS	インターネットへの送信するパケットを優先制御するかどうかを設定します。優先制御をする場合は、チェックマークをつけて、以下の内容を設定します。
上り回線帯域	本製品からインターネット側への上り回線の通信帯域をkbps単位で指定します。 * 上り回線帯域は実際の値を設定してください。
有効	そのリストの有効無効を切り替えます。
アプリ名	アプリケーション名を入力します。
プロトコル	TCP、UDPのいずれかを選択します。
宛先ポート	宛先ポートを1～65535で指定します。空欄にすると、任意のポートが対象になります。
優先度	高、中、低のいずれかを選択します。 * インターネットへの送信用QoSで、設定に該当しない通信は、中と低の中間の優先度になります。

NAS

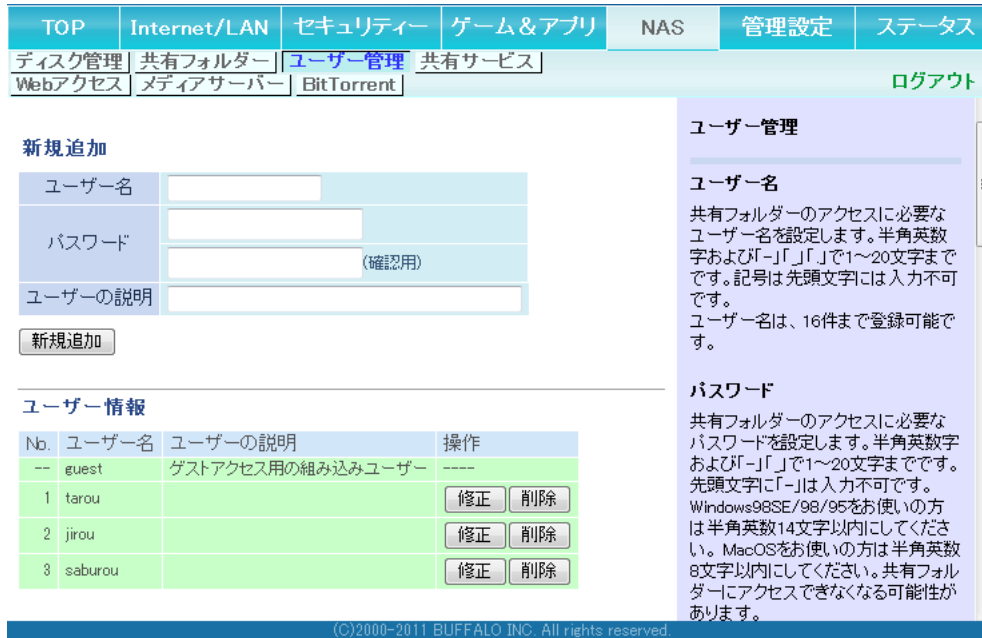
ディスク管理

本製品に接続したUSBディスクに関する情報表示や管理を行う画面です。

パラメーター	内容
デバイス情報	認識したUSBディスクの「製造者」「製品名」「ユニット名」を表示します。
ディスク割当	ディスク番号もしくは「割当しない」を選択します。
パーティション情報	パーティション情報を表示します。
[USBデバイスの再認識]	USBディスクを再認識します。
USBディスクの自動割当	USBディスクの番号を自動的に割り当てるかどうかを設定します。
FATフォーマットファイル名文字コード	FATフォーマットでのファイル名の文字コードを指定します。

パラメーター	内容
HDD節電機能	HDD節電機能の使用の有無を指定します。
HDD停止時間	HDDが指定した時間未使用だった場合、HDDの電源をOFFにします。指定できる時間は1〜300分です。

共有フォルダー

USBディスクへのアクセス制限設定を行う画面です。

パラメーター	内容
共有フォルダー名	共有時に公開するフォルダー名を半角18文字までで設定します。文字には、半角英数字の他に各国の文字と「-」「_」が入力可能です。先頭文字に数字と記号は入力できません。
共有フォルダーの説明	共有時に公開するフォルダーの説明を半角75文字までで設定します。半角英数字の他に各国の文字、半角スペース、「-」「_」が入力可能です。
ディスクパーティション領域	ディスク、パーティションの「選択」「ディスクパーティション領域」「フォーマット」「使用/容量(使用率)」を表示します。
公開先	登録した共有フォルダーで使用する機能(Win/MacOS(Samba)、Webアクセス)を選択します。
アクセス制限設定	ユーザー名によるアクセス制限を設定します。
Webアクセス設定	チェックありの場合は、Webアクセス時に認証を行い、アクセス制限機能の設定に従います。チェックなしの場合は、Webアクセス時に認証を行わず、読み込みのみとします。

ユーザー管理

USBディスク上の共有フォルダーへのアクセスに必要なユーザー名を登録する画面です。

パラメーター	内容
ユーザー名	共有フォルダーのアクセスに必要なユーザー名を半角英数字および「-」「_」「.」で1～20文字までで設定します。記号は先頭文字には入力不可です。
パスワード	共有フォルダーのアクセスに必要なパスワードを半角英数字および「-」「_」で1～20文字までで設定します。先頭文字に「-」は入力不可です。
ユーザーの説明	ユーザー名の説明を半角75文字までで設定します。半角英数字の他に各国の文字、半角スペース、「-」「_」が入力可能です。
ユーザー情報	登録しているユーザー情報が表示されます。

共有サービス

共有サービスの有効/無効の設定や状態を確認する画面です。

パラメーター	内容
共有フォルダー機能	共有フォルダー機能を使用するかどうかを設定します。
ブロードステーション名	ブロードステーション名を設定します。 * [管理設定]－[本体]－[ブロードステーション名]と同じです。共有サービスとして使用できるホスト名になります。
ブロードステーション説明	ブロードステーションの説明を半角48文字までで設定します。半角英数字の他に各国の文字、半角スペース、「-」「_」が入力可能です。
ワークグループ名	ワークグループ名を半角15文字までで設定します。半角英数字の他に各国の文字、「-」「_」「.」が入力可能です。
Windowsクライアント言語	Windowsクライアントで使用する言語を選択します。
共有サービスの状態	共有サービスで使用するUSBディスクの状態を表示します。 * 使用不可の場合、USBディスクの状態を確認してください。

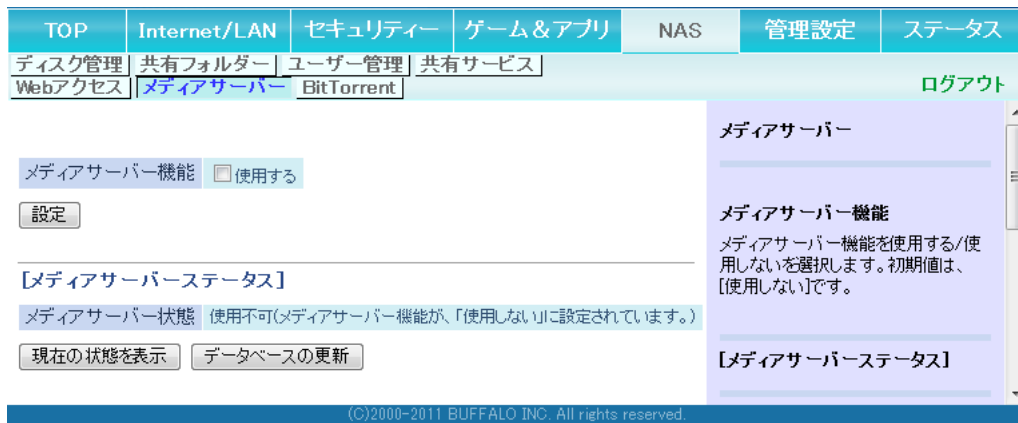
Webアクセス

Webアクセス機能に関する設定を行う画面です。

パラメーター	内容
Webアクセス機能	Webアクセス機能を使用するかどうかを設定します。
HTTPS/SSL暗号化	SSL暗号化を使用し、より安全な転送をするかどうかを設定します。
Webアクセス外部ポート	Webアクセス外部ポートを設定します。
DNSサービスホスト名	**BuffaloNAS.com登録機能を使用する** 「BuffaloNAS.comネーム」は、BuffaloNAS.comサーバーへ登録するブロードステーションのニックネームを半角3～20文字までで入力します。半角英数字、「-」「_」が入力可能です。「BuffaloNAS.comキー」は、BuffaloNAS.comサーバーへ登録するブロードステーションのニックネームを保存/使用するためのキーを半角3～20文字までで入力します。半角英数字、「-」「_」が入力可能です。 **DDNS設定のホスト名を使用する** Webアクセス機能で、ダイナミックDNS機能を使用する場合に設定します。 **手動でホスト名を設定する** 使用するホスト名を半角63文字までで入力します。半角英数字、「-」「_」「.」が入力可能です。

パラメーター	内容
Webアクセス機能の状態	「使用不可」と表示される場合は、USBディスクの状態を確認してください。
Webアクセス外部ポート設定状態	「登録失敗」と表示される場合は、Webアクセス外部ポート番号の設定を確認してください。
BuffaloNAS.com登録状態	「登録失敗」と表示される場合は、BuffaloNAS.comの設定を確認してください。

メディアサーバー

メディアサーバー機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。

パラメーター	内容
メディアサーバー機能	メディアサーバー機能を使用するかどうかを設定します。
共有サービスの状態	メディアサーバーの状態が表示されます。

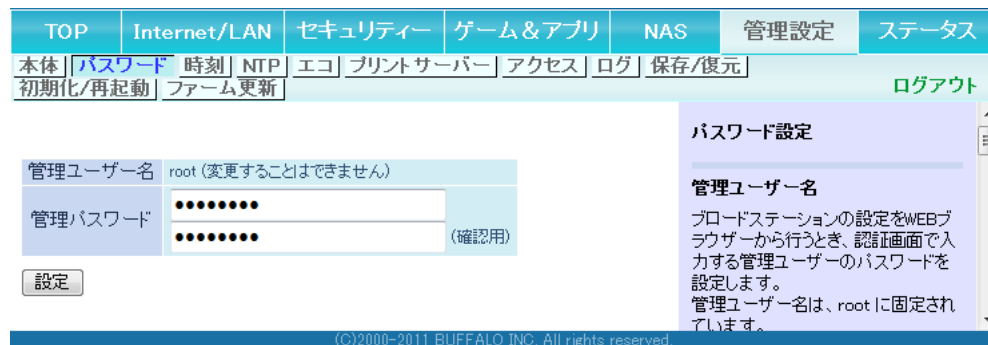
BitTorrent

BitTorrent機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。

パラメーター	内容
BitTorrent機能	BitTorrent機能を使用するかどうかを設定します。
BitTorrent外部ポート番号	BitTorrent外部ポート番号を設定します。
帯域制限設定	BitTorrent機能で使用する帯域制限を設定します。
BitTorrent機能の状態	BitTorrent機能の状態を表示します。
BitTorrent外部ポート設定状態	BitTorrent外部ポートの状態を表示します。

管理設定

本体

本製品の名称を設定する画面です。

パラメーター	内容
ブロードステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。
設定用ホスト名	本製品の設定画面を表示する際に使用するホスト名を半角英数字と「.」、「-」で、16文字までで設定します。
ネットワークサービス解析	ネットワーク上のパケットデータ（ARPパケット）を解析して、LAN側に存在するパソコンをリストアップするかどうかを設定します。

パスワード

本製品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。

パラメーター	内容
管理ユーザー名	本製品の設定画面へログインするときのユーザ名です。「root」以外に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインするときのパスワードを半角英数字と「_」で、8文字までで設定します。

時刻

本製品の内部時計を設定する画面です。

パラメーター	内容
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。
タイムゾーン	本製品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指定します。

NTP

本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。

パラメーター	内容
NTP機能	本製品の内部時計をNTPサーバーを使って設定するかどうかを指定します。
サーバー名	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期（1～24時間毎）を設定します。

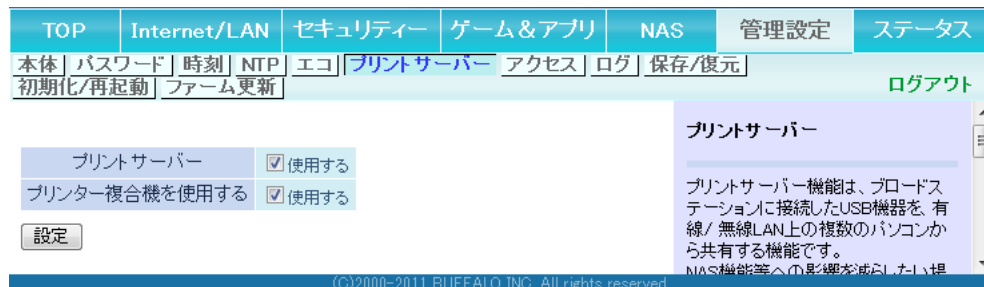
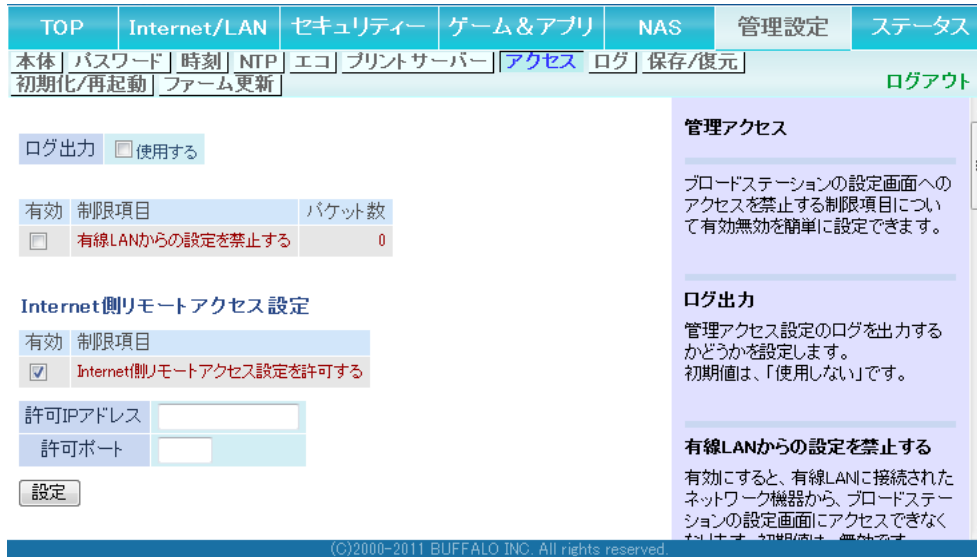
エコ

本製品のおまかせ節電機能の設定を行う画面です。

パラメーター	内容
スケジュール	あらかじめ登録したスケジュールにしたがって、おまかせ節電機能を使用するかどうかを設定します。 おまかせ節電機能を使用するには、「使用する」を選択する必要があります。
週間スケジュール	「スケジュール登録」で設定したスケジュールが表示されます。

パラメーター	内容
スケジュール登録	おまかせ節電の開始/終了スケジュールを設定します。スケジュールは、「動作モード」、「開始時間」、「終了時間」、「曜日」を組み合わせて設定します。 **動作モード** おまかせ節電時の動作モードを設定します。 通常動作の場合、省電力機能を使用せず動作します。 ユーザ定義の場合、「ユーザ定義モード」で設定した動作を行います。 **開始時間** おまかせ節電時の開始時間を0:00～23:30まで30分単位で設定します。 **終了時間** おまかせ節電時の終了時間を0:30～24:00まで30分単位で設定します。 **曜日** おまかせ節電を実行する曜日を設定します。
ユーザー定義モード	おまかせ節電の内容を細かく指定したい場合に設定します。ユーザ定義モードは、「ランプ」、「有線LAN」を組み合わせて設定します。 **ランプ** おまかせ節電時のランプの動作を設定します。 通常動作の場合、ランプが点灯します。 オフの場合、POWERランプ以外のランプがOFFになります。 **有線LAN** おまかせ節電時の有線LANの動作を設定します。 通常動作の場合、最大1000Mbpsで通信を行います。 エコ（低速動作）の場合、通信相手側の機器の仕様に合わせて、最大通信速度が100Mbpsまたは10Mbpsに制限※されます。 ※ 通信相手側の機器が100Mbps/10Mbps両対応であれば100Mbpsで、10Mbpsのみの対応であれば10Mbpsでの通信となります。

プリントサーバー

本製品のプリントサーバー機能の設定を行う画面です。

パラメーター	内容
プリントサーバー	プリントサーバー機能を使用するかどうかを設定します。
プリンター複合機を使用する	USBマスストレージクラスに対応したプリンターを、プリンターとして使用するかどうかを設定します。

アクセス

本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。

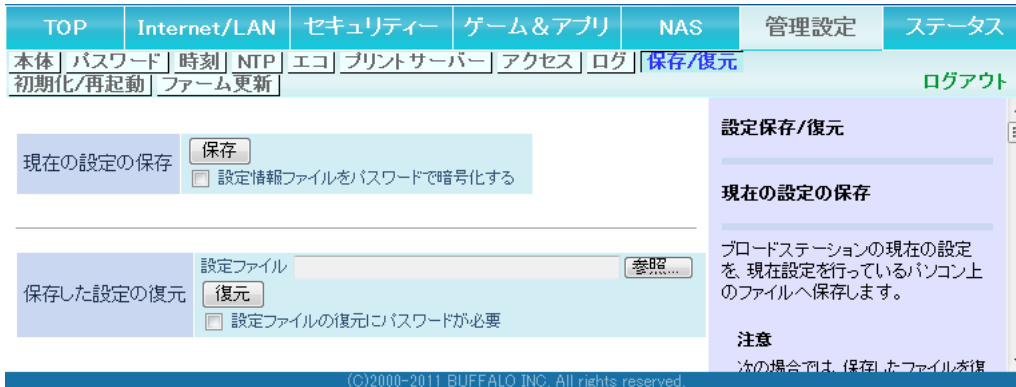
パラメーター	内容
ログ出力	管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。
有線LANからの設定を禁止する	本製品のLANポートに接続された機器から本製品の設定をできないようにします。
Internet側リモートアクセス設定を許可する	Internetに接続されたネットワーク機器から本商品の設定画面へのアクセスを制限するかどうかを設定します。 アクセスを許可する場合は、許可IPアドレスと許可ポートを別途設定します。

ログ

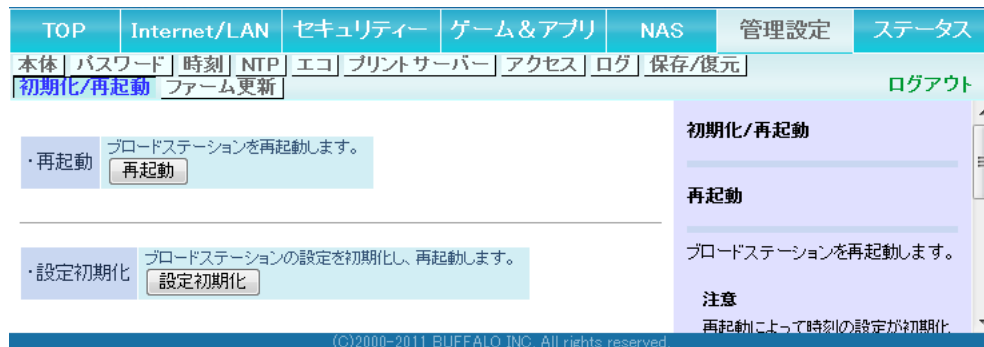
syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

パラメーター	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。

保存/復元

本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。

パラメーター	内容
現在の設定の保存	[保存]をクリックすると、本製品の現在の設定をファイルに保存します。「設定情報ファイルをパスワードで暗号化する」にチェックマークをつけると、設定情報ファイルにパスワードをつけて保存します。
保存した設定の復元	[参照]で設定ファイルを指定して[復元]をクリックすると、保存された設定ファイルから、本製品の設定を復元します。設定ファイルにパスワードが設定されている場合は、「設定ファイルの復元にパスワードが必要」にチェックマークをつけて、パスワードを入力してください。

初期化/再起動

本製品を初期化したり、再起動するための画面です。

パラメーター	内容
再起動	クリックすると、本製品が再起動します。
設定初期化	クリックすると、本製品の設定が初期化され、再起動します。

ファーム更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

パラメーター	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
更新方法	ファームウェアの更新方法を設定します。 **ローカルファイル指定** パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行います。 **自動更新(オンラインバージョンアップ)** インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルを取得して更新を行います。
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。
ファームウェア更新通知機能	新しいファームウェアがリリースされている場合に、設定画面上に通知する機能を使用するかどうかを設定します。
確認時間	新しいファームウェアがリリースされているかを本製品がチェックする時間を設定します。「自動」に設定すると、確認時間が自動的に決定されます。

ステータス

システム

本製品の名称を設定する画面です。

パラメーター	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
ブロードステーション名	ブロードステーション名(P127)が表示されます。
Internet	Internetポートの情報が表示されます。
LAN	LANポートの情報が表示されます。

パラメーター	内容
NAS	本製品のNAS機能に関する情報が表示されます。
i-フィルター	本製品の「i-フィルター」機能に関する情報が表示されます。
エコモード	おまかせ節電の状態が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

パラメーター	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ情報	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

パラメーター	内容
送信パケット数	Internet側有線、LAN側有線に送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	Internet側有線、LAN側有線から受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

クライアントモニター

本製品と通信している機器を確認する画面です。

パラメーター	内容
クライアントモニター	本製品と通信している機器の情報（MACアドレス、リースIPアドレス、ホスト名、通信方式）が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

パラメーター	内容
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレス、またはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

Chapter 5 - 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

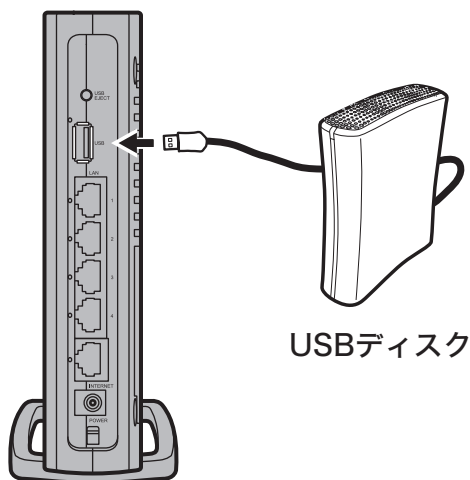
本製品に接続したUSBディスクをネットワークディスク(NAS)として使用する方法

本製品に接続したUSBディスクをネットワークディスク(NAS)として使用する方法を説明します。

メモ
- USB機器(ハードディスク/フラッシュメモリー/USBハブなど)は、当社で動作確認済みの製品をご使用ください。
- 使用できるUSBディスクのフォーマット形式は、FAT12/FAT16/FAT32/XFSです。
- USBディスクを取り外すときは、「USBディスクの取り外しかた」(P148)を参照してください。
- 本製品に接続したUSBディスクをネットワークディスク(NAS)として使用する際の制限事項は、「USBディスク使用時の制限事項」(P160)を参照してください。
- 大切なデータはバックアップを行ってください。

USBディスクの接続と設定

USBディスクをNASとして使用するための初期設定を説明します。

1

本製品とUSBディスクをUSBケーブルで接続します。

接続後、USBディスクの電源がOFFの場合は電源をONにします。

2 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

3 「NAS」をクリックします。

TOP　Internet/LAN　セキュリティー　ゲーム&アプリ　NAS　管理設定　ステータス
かんたん設定&基本情報
ログアウト

4 ディスク番号が自動的に割り当てられることを確認します。

メモ
- 「NAS」−「USBディスクの自動割当」の「使用する」にチェックが入っていない場合は、手動でディスク番号を割り当てます。
- フォーマットがFAT12/FAT16/FAT32/XFS以外の場合は、FAT12/FAT16/FAT32/XFSへのフォーマットが必要です。(フォーマットを行うとデータは消去されます。)

以上で設定は完了です。

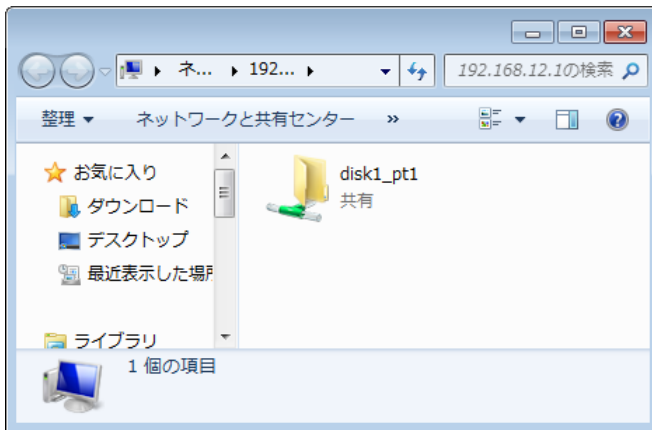
共有フォルダーへアクセスするには

Windows 8/7/Vista/XPパソコンの場合は、Webブラウザーのアドレス欄で「¥¥(本製品のIPアドレス)」を指定します。

Mac OS Xの場合は、メニューより、[移動]－[サーバへ接続]をクリックし、「smb://(本製品のIPアドレス)」を指定して共有フォルダーをマウントします。

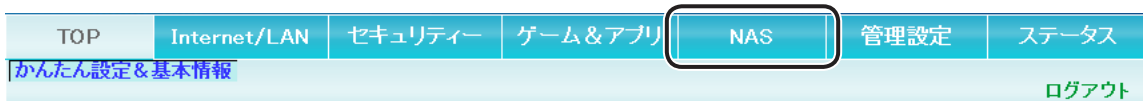
共有フォルダーが表示されない場合は、本製品の設定画面で「NAS」－「共有サービス」－「共有フォルダー機能」の「使用する」にチェックマークが付いているか確認してください。

共有フォルダー名について

共有フォルダー名は「disk*_pt*」です。(*にはディスク番号、パーティション番号が入ります。)

USBディスクのフォーマット

USBディスクをFAT/XFSにフォーマットする方法を説明します。

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

3　[フォーマット]をクリックします。

USBディスク情報

4　「フォーマット形式」を選択して、[フォーマット実行]をクリックします。

フォーマット 対象

デバイス情報	XXXXXX DT 100 G2
パーティション情報	パーティション1
フォーマット	FAT
使用/容量(使用率)	22,464 / 3,904,100 (1%)

操作

[警告]ドライブの 指定したパーティションもしくはドライブの 全データが消えてしまいます。

メモ
- FAT32の場合、32GBの容量までフォーマットできます。読取/書込どちらもできます。1ファイル4GB以上のデータはコピーできません。「:」などMac OS Xで使用する一部の文字が使用できません。
- XFSの場合、読取/書込どちらもできます。ジャーナリングファイルシステムに対応しています。1つのフォルダーにファイルの数が多くなってもアクセスが遅くなりません。Windows/Macに直接接続しても読み出しできません。

以上で設定は完了です。

USBディスクの節電設定

USBディスクの電源を自動でOFFにする方法を説明します。

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

3 「HDD節電機能」の「使用する」にチェックし、「HDD停止時間」を入力して[設定]をクリックします。

メモ
・ご使用の環境により、本機能が動作しない場合があります。
・HDD節電機能でUSBディスクの回転が止まらない場合は、HDD節電機能を「使用しない」で使用してください。
・USBディスクの電源をOFFからONにした際、USBディスクが認識できない場合は、HDD節電機能を無効にした後、[取り外し]をクリックし、USBディスクを一度取り外してから、再度接続してください。

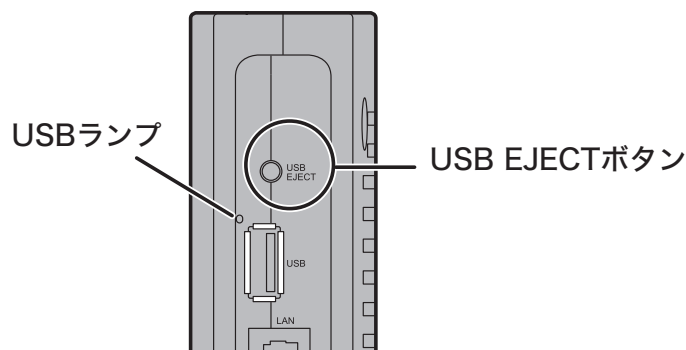
以上で設定は完了です。

USBディスクの取り外しかた

USBディスクを取り外す方法を説明します。

メモ USBディスクにアクセス中に取り外すとデータ破損などの原因となります。

製品背面のUSB EJECTボタンを使用して取り外す方法

1 製品背面の[USB EJECT]ボタンを約3秒間長押ししてから離します。

2 「USB EJECT」ランプが緑色点灯 ⇒ 緑色点滅に変わります。

3 USBディスクを取り外します。

以上で設定は完了です。

設定画面の[取り外し]ボタンを使用して取り外す方法

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

TOP　Internet/LAN　セキュリティー　ゲーム＆アプリ　NAS　管理設定　ステータス
かんたん設定＆基本情報
ログアウト

3 [取り外し]をクリックします。

4 「取り外し可能」と表示されたことを確認して、USBディスクを取り外します。

以上で設定は完了です。

USBディスクのアクセス制限設定

USBディスクにアクセス制限を設定する方法を説明します。

メモ USBディスクの自動割当有効時は、USBディスク単位にアクセス制限を設定します。USBディスクに複数の共有フォルダーがある場合は、すべての共有フォルダーに設定が適用されます。USBディスクの自動割当を無効にすると、共有フォルダー単位にアクセス制限を設定できます。ここでは、USBディスクの自動割当有効時（USBディスク単位のアクセス制限）の設定方法を紹介します。

1 「設定画面を表示する」（P82）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

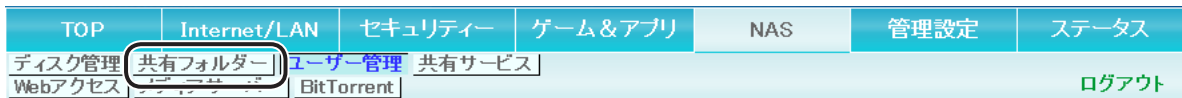
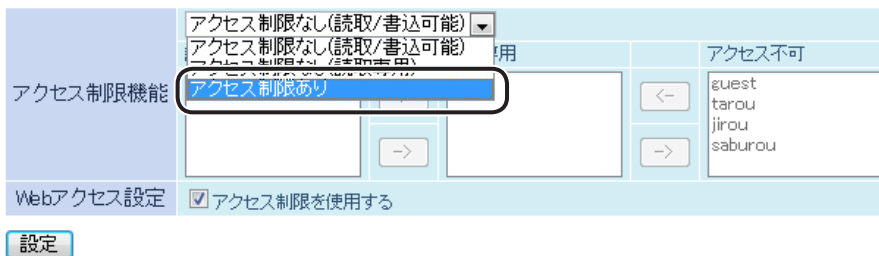
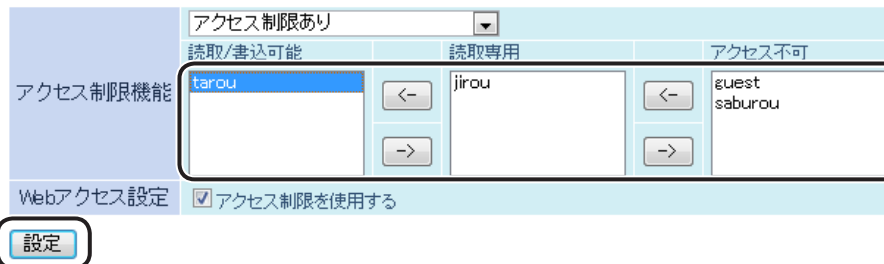
2 「NAS」をクリックします。

3 「ユーザー管理」をクリックします。

4 「ユーザー名」「パスワード」を入力して、[新規追加]をクリックします。

メモ ・ユーザー名/パスワードは、各パソコンがログオンする際に使用するユーザー名/パスワードを入力します。

・16ユーザーまで登録できます。

5 「共有フォルダー」をクリックします。

6 「アクセス制限機能」の「アクセス制限あり」を選択します。

7 ユーザー名を選択し、[←][→]ボタンを使用して「読取/書込可能」「読取専用」「アクセス不可」へ移動し、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

インターネット経由でUSBディスクにアクセスする

Webアクセス機能を使用して、インターネット経由で本製品に接続したUSBディスクにアクセスするための設定方法を説明します。

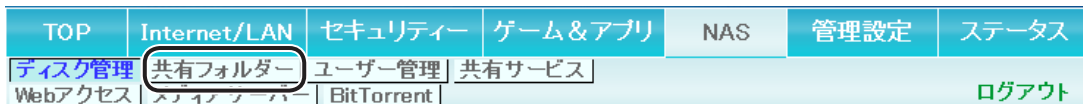
メモ ここではBuffaloNas.comサーバーを介してアクセスする方法を説明します。

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | セキュリティー | ゲーム&アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
かんたん設定&基本情報
ログアウト

3 「共有フォルダー」をクリックします。

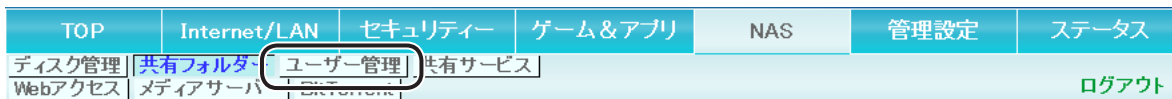
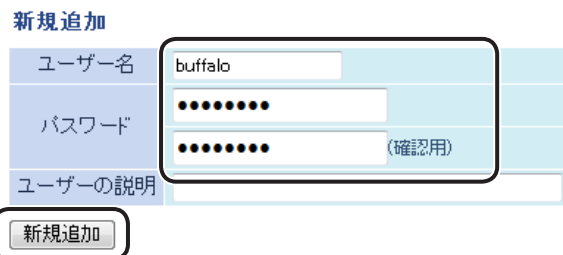
TOP | Internet/LAN | セキュリティー | ゲーム&アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
ディスク管理 | 共有フォルダー | ユーザー管理 | 共有サービス
Webアクセス | メディアサーバー | BitTorrent
ログアウト

4 「Webアクセス設定」欄で、アクセス制限を使用するかしないかを選択して[設定]をクリックします。

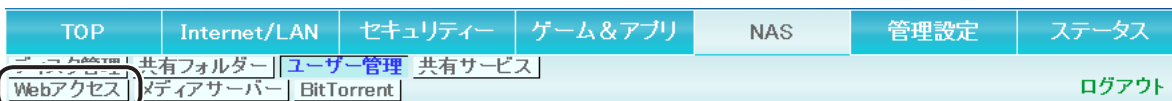
共有フォルダー設定

アクセス制限機能	アクセス制限なし(読取/書込可能)				
	読取/書込可能		読取専用		アクセス不可
		<- ->		<- ->	guest
Webアクセス設定	☑アクセス制限を使用する				

設定

メモ
- 「USBディスクの自動割当」を使用しない設定にしている場合は、Webアクセス機能で使用する共有フォルダーを設定してください。
- 「アクセス制限を使用する」の場合、アクセス時に、本製品に登録したユーザー名/パスワードでログインが必要です。各ユーザーの権限は本製品のアクセス制限機能の設定にしたがいます。
- 「アクセス制限を使用しない」の場合、アクセス時に認証を行わず、読取専用でログインします。書込を行う場合は、本製品に登録したユーザー名/パスワードでログインが必要です。読取専用でWebアクセス機能を使用する場合は、ユーザー登録の必要はありません。

5 「ユーザー管理」をクリックします。

6 ユーザー名/パスワードを入力して[新規追加]をクリックします。

メモ ユーザーは16件まで登録できます。

7 「Webアクセス」をクリックします。

8 以下を参考に各項目の設定を行い、[設定]をクリックします。

Webアクセス機能:

使用する

HTTPS/SSL暗号化:

使用しない(転送時にデータを暗号化する場合は「使用する」に設定)

Webアクセス外部ポート:

自動的に外部ポート番号を設定する

DNSサービスホスト名:

BuffaloNAS.com登録機能を使用する

BuffaloNAS.comネーム:

アクセスする際に使用する名前を入力します

BuffaloNAS.comキー:

任意の文字列を入力します

外出先のパソコンからアクセスする方法は、当社ホームページ(http://buffalonas.com/manual/ja/webac_common.html)を参照してください。

以上で設定は完了です。

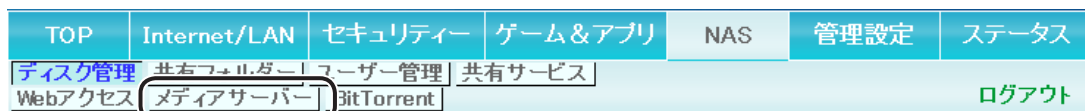
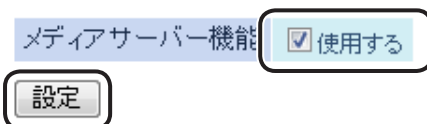
共有フォルダーのコンテンツをネットワークメディアプレーヤーで再生する

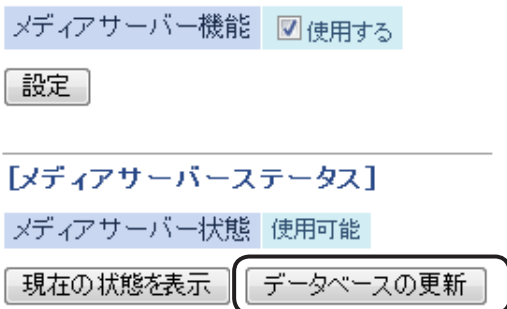
共有フォルダーをネットワークメディアプレイヤーで使用する方法を説明します。

メモ　メディアサーバーとして公開する共有フォルダーは「disk1_pt1」（ディスク1、パーティション1）です。ネットワークメディアプレイヤーで再生したいファイルは「disk1_pt1」に保存してください。

1　「設定画面を表示する」（P82）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2　「NAS」をクリックします。

3　「メディアサーバー」をクリックします。

4　「メディアサーバー機能」で「使用する」にチェックを入れ、[設定]をクリックします。

5　ネットワークメディアプレイヤーで再生します。
通常、ネットワークメディアプレイヤーの画面に本製品の「ブロードステーション名」(P127)が表示されます。「ブロードステーション名」を選択してファイルを再生してください。

メモ
・共有フォルダー内のファイルをネットワークメディアプレーヤーで再生できない場合は、下記の画面にて[データベースの更新]をクリックしてください。

・データベースの更新は、「http://(本製品のIPアドレス)/mediaserver.html」からも行うことができます。

以上で設定は完了です。

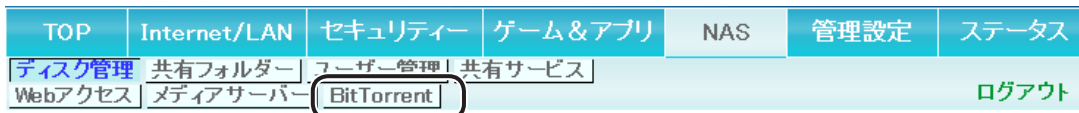
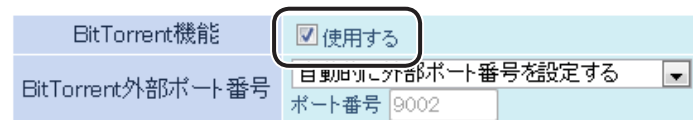
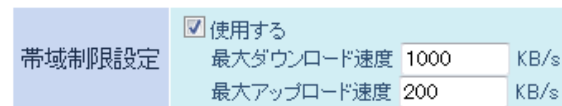
BitTorrentでファイルをダウンロードする

BitTorrentでファイルをダウンロードする方法を説明します。

メモ
・BitTorrentは非匿名性です。ダウンロードしたファイルはインターネットに公開され、誰がどのファイルを公開しているか分かる仕組みになっています。
・著作権のある動画や音声、ソフトウェアなどは、著作権上、権利者に無断で使用することはできません。
・BitTorrent機能を使用する前に、「USBディスクのフォーマット」(P145)を参照して、USBディスクのフォーマット形式をXFS形式に変更してください。フォーマット形式がFATの場合、BitTorrent機能は使用できません。
(フォーマットの際、USBディスク内のデータがすべて消去されますので、必要なデータは事前にバックアップを作成してください)

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

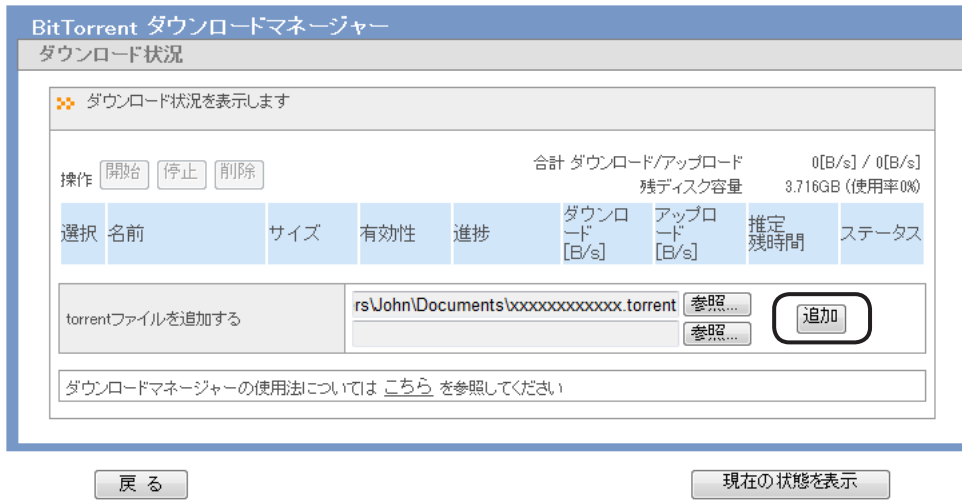
2 「NAS」をクリックします。

3 「BitTorrent」をクリックします。

4 「BitTorrent機能」で「使用する」にチェックを入れ、[設定]をクリックします。

メモ 「帯域制限設定」を行うことで、BitTorrentで使用する帯域(ダウンロード/アップロード)を制限できます。

5　[ダウンロードマネージャー]をクリックします。

6　[参照]をクリックして、Torrentファイルを指定します。

メモ
- トレント情報(拡張子が「.torrent」のファイル)は、米BitTorrent社のホームページ(http://www.bittorrent.com/intl/ja/)や個人が運営するホームページからダウンロードできます。トレント情報の利用規約、著作権等は各ホームページにしたがってください。
- 設定画面「TOP」の[ダウンロードマネージャーを表示]をクリックしても以下の画面を表示できます。

7 [追加]をクリックすると、ダウンロードが始まります。

メモ ダウンロードしたファイルは「disk1_pt1」(ディスク1、パーティション1)フォルダーに保存されます。
USBディスクの自動割当が無効の場合は、指定した共有フォルダーに保存されます。

以上で設定は完了です。

USBディスク使用時の制限事項

全般的な制限事項

- 全角文字(日本語など)のフォルダーやファイル名を作成するときは、80文字以内にしてください。80文字を越える名前のフォルダーやファイルは、コピー操作ができないことがあります。
- フォルダーやファイルに属性(隠し/読取専用)を設定することはできません。
- アクセス制限をかけて使用する場合、登録できるユーザー数は16名までです。
- 共有フォルダー名とワークグループ名に漢字を使用すると、使用した文字によっては共有フォルダーやワークグループが正常に表示されないことがあります。そのようなときは漢字以外の文字をお使いください。
- 本製品に登録するユーザー名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。

  adm、administrator、all、bin、daemon、disk、ftp、guest、halt、hdusers、kmen、lp、mail、man、news、nobody、nogroup、none、operator、root、shadow、shutdown、sshd、sync、sys、ttyusers、utmp、uucp、www
- 本製品に登録するユーザー名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。

  ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸ
  ⅹ㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻
  ￤＇＂〟∮∑∟⊿纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈鋹曻彅丨仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰
  偂傔僴僘兊兤冝冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆坙坥垬埈埇﨏塚增墲夋奓奛奝
  奣妤妺孖寀甯寘寬尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊惞惕愠惲愑愷愰憘戓抦揵
  摠撝擎敎昀昕昻昉昮昞昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰橫橆橳
  橾櫢櫤毖氿汜沆汯泚洄涇浯涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾
  犱犾猤猪獷玽珉珖珣珒琇珵琦琪琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤硺礰礼神祥禔福
  禛竑竧靖竫箞精絈絜綷綠緖繒罇羡羽茁荢荿菇菶葈蒴蕓蕙蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟諸
  諶譓譿賰賴贒赶﨣軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗釞釭釮釤釥鈆鈐鈊鈺鉀鈼鉎鉙鉑鈹鉧銧鉷鉸鋧鋗
  鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤鏆鏞鏸鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻靃靍靏靑靕顗顥飯飼
  餧館馞驎髙髜魵魲鮏鮱鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑畩秕緇臂蘊訃躱鐓饐鷀
- MacとWindowsでデータを共有する場合、以下の文字では、文字化けは発生しませんが、コードが異なります。

  —〜‖−¢£¬

- Macで作成したファイル名に下記の記号が含まれると、WindowsからはOSの制限により正常に表示できません。またMacでは、SMBを指定して接続する時に下記の記号を使用すると、ファイルをコピーできません（または正常に表示できません)。

  ? [ ] / ￥ = + < > ; : ” , | *

- ファイルのコピー中にキャンセルしたり、コピーを途中で終了(ネットワーク接続が切断した、USBケーブルが抜けた、停電など)すると、不完全なファイルがコピーされ、ファイルが削除できなくなることがあります。その場合は、本製品を再起動してからファイルを削除し、コピー操作をもう一度行ってください。

- 本製品で使用するユーザー名、パスワードはWindowsのネットワークログイン時のユーザー名、パスワードと同じユーザー名、パスワードにしてください。異なる場合、本製品のアクセス制限を設けた共有フォルダーにアクセスできないことがあります。

- 本製品に搭載されているOSの仕様上、接続したUSBハードディスクへ保存したファイルの日付情報は更新されることがあります（作成日時、更新アクセスなどの日付情報は保持されません)。

- ハードディスクの容量をブラウザーから確認したときと、Windowsのドライブのプロパティから確認したときで、値が異なる場合があります。

- Windows 8/7/Vista/XP/2000にguestアカウントでログインした場合、本製品に出荷時設定されているguestアカウントが存在するためアクセス制限が正常に動作しない場合があります。

- Macからアクセスされた共有フォルダーには、Mac用の情報ファイルが自動生成されることがあります。これらをWindowsから削除した場合、Macからアクセスできなくなることがありますので削除はしないでください。

本製品のUSBコネクターに関する制限事項

- 本製品のUSBコネクターに接続できるのは、USBハードディスク、USBフラッシュ、USBカードリーダー(5ドライブ以上認識されるカードリーダーは非対応)、USBハブ（セルフパワー型の対応機種のみ)、プリンターです。デジタルカメラ、CD/DVDドライブ、マウス、キーボード等のUSB機器を接続して使用することはできません。

- ハードウェア/ソフトウェアで暗号化されたUSBディスクは使用できません。

- USBディスクによっては、USBディスクの節電機能が動作しないことがあります。

- 本製品のUSBコネクターに接続して使用できるハードディスクは１台までです。当社製ハードディスク以外のハードディスクは対応しておりません(当社製DIU/DUBシリーズは非対応)。対応ハードディスクは、当社ホームページをご参照ください。AUTO電源機能を搭載したハードディスクを本製品に接続しても認識できないことがあります。そのようなときは、「AUTO電源機能切替スイッチ」を「MANUAL」に設定してください。

● USBコネクターに接続したハードディスクは第4パーティションまで認識出来ます。ファイルシステムはFAT12/FAT16/FAT32/XFSを認識できます。

USBハブ使用時の制限事項

● USBハブは、本製品に対応したもの(セルフパワー型)をご使用ください。対応機種については、当社ホームページでご確認ください。

● USBディスクへのデータ書き込み中やデータ読み出し中に、USBハブにUSB機器を接続すると、データの書き込み/読み出しが中断されます。

本製品に接続したプリンターや複合機を使用する

本製品に接続したプリンターや複合機を使用するには、デバイスサーバー設定ツールが必要です。まずは以下の手順でデバイスサーバー設定ツールをインストールしてください。

メモ
- 本製品にてデバイスサーバー設定ツールをご利用になる場合、プリンターおよび複合機（プリンター/スキャナー/メモリーカードリーダー）にのみ対応しています。他のUSBデバイスには、ご利用いただけません。
- デバイスサーバー設定ツールの最新版は、当社ホームページからダウンロードできます。

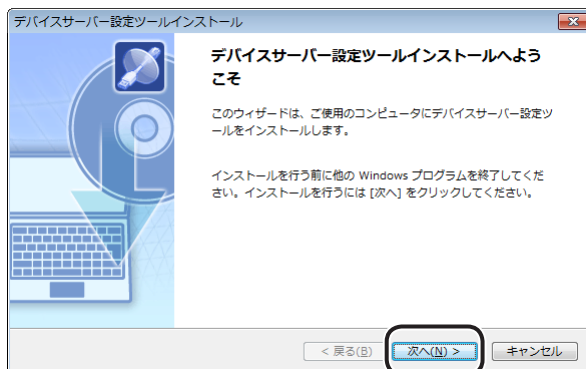
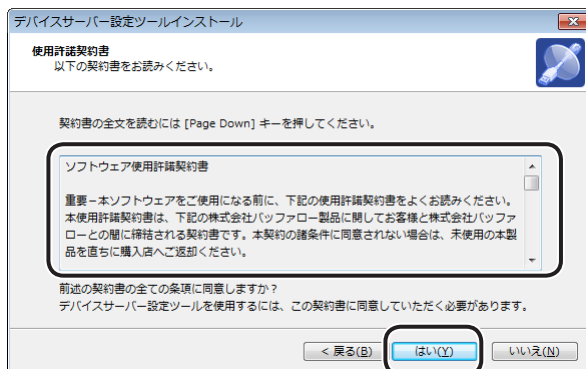
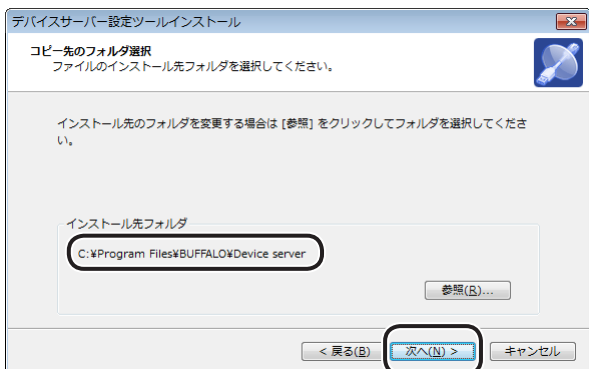
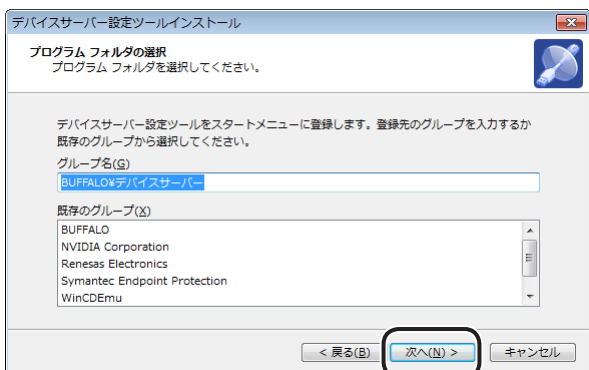
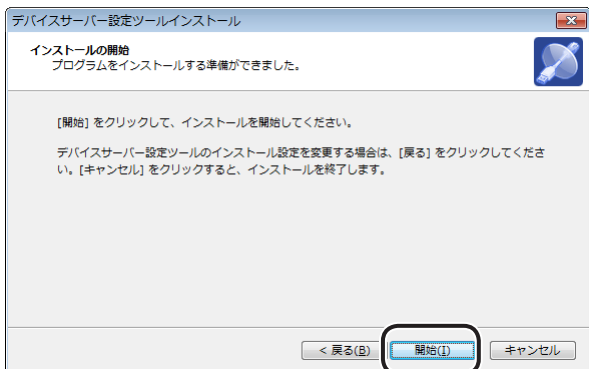
Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合

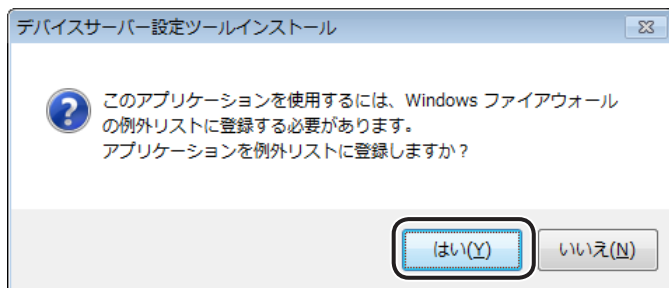
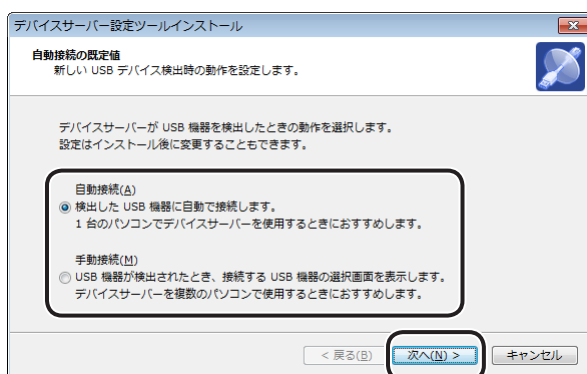
1 付属CDをパソコンにセットします。

メモ
- 「自動再生」画面が表示された場合は、[Launcher.exeの実行]をクリックしてください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックしてください。

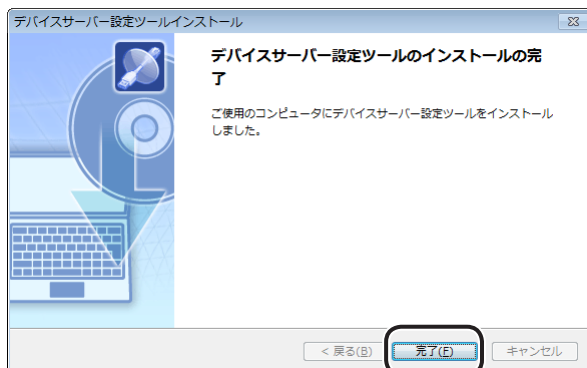
2 以下の画面が表示されたら、[ソフトのインストール]をクリックします。

3 デバイスサーバー設定ツールの[インストール開始]をクリックします。

4 [次へ]をクリックします。

5 ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認し、同意できる場合は[はい]をクリックします。

6 インストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

7 [次へ]をクリックします。

8 [開始]をクリックします。

メモ 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか？」という画面が表示されたら、「"BUFFALO INC."からのソフトウェアを常に信頼する」にチェックマークを付けて、[インストール]をクリックしてください。

9 [はい]をクリックします。

10 プリンター検出時の動作を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ ・「自動接続」を選択した場合は、デバイスサーバー設定ツールがプリンターを検出した際、自動的にプリンターに接続します。

・「手動接続」を選択した場合は、手動でプリンターに接続します。

11 [完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

デバイスサーバー設定ツールの使いかたについては、製品に付属の「プリントサーバー機能の使いかた」を参照してください。

Mac OS Xをお使いの場合

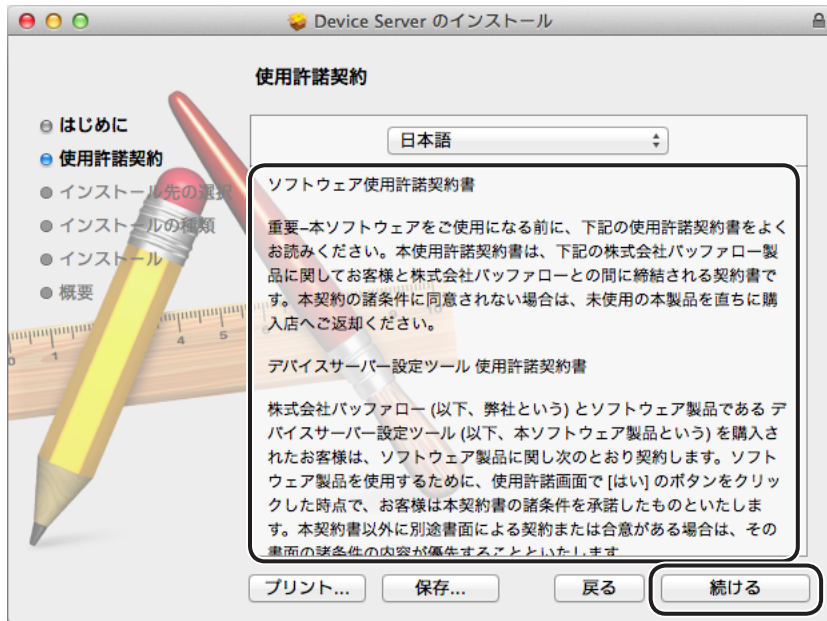
ここでは、Mac OS X 10.6の場合を例に説明します。

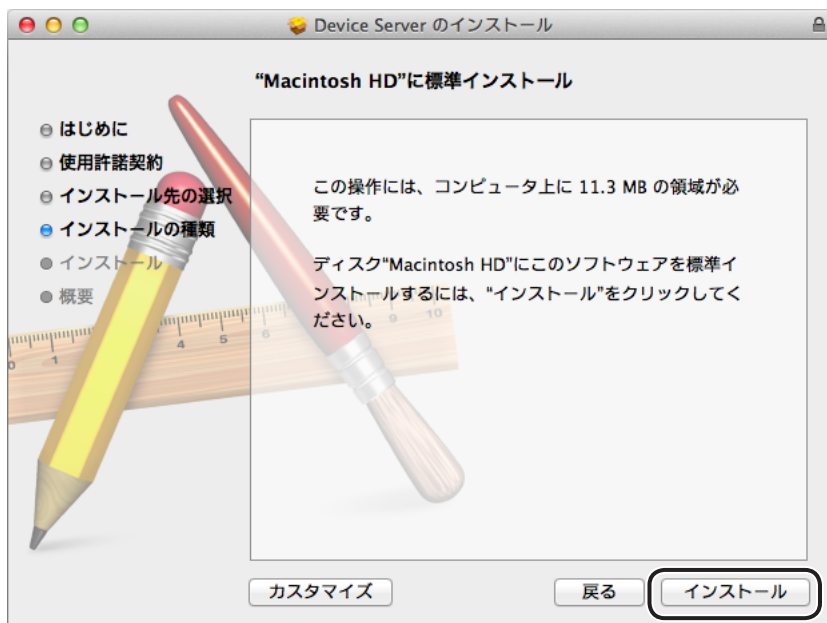
1 付属CDをMacにセットします。

2 デスクトップに表示されるCDのアイコンをダブルクリックします。

3 [Mac]ー[DeviceServer]ー[Cosetup]の順にダブルクリックします。

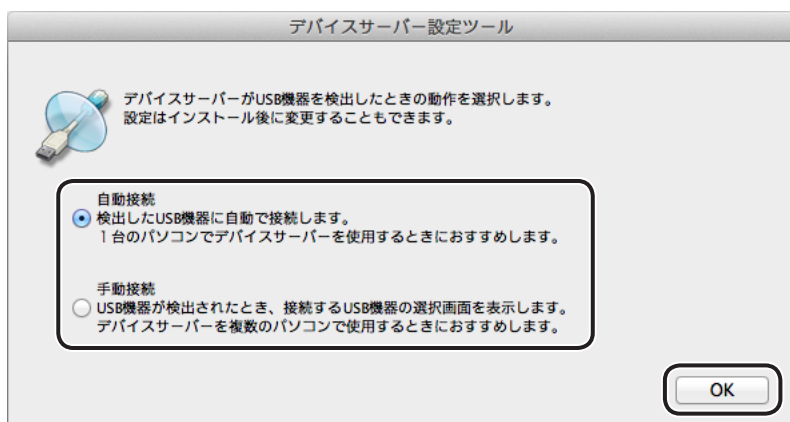
4 [続ける]をクリックします。

5 ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認し、[続ける]をクリックします。

6 ソフトウェア使用許諾契約書の内容に同意できる場合は[同意する]をクリックします。

7 [インストール]をクリックします。

8 Macに設定している名前とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール]をクリックします。

9 「このソフトウェアのインストール終了時に、コンピュータを再起動する必要があります。ソフトウェアを今すぐインストールしてもよろしいですか？」と表示されたら、[インストールを続ける]をクリックします。

10 [再起動]をクリックします。

11 Macintoshが再起動したら、プリンター検出時の動作を選択し、[OK]をクリックします。

メモ
- 「自動接続」を選択した場合は、デバイスサーバー設定ツールがプリンターを検出した際、自動的にプリンターに接続します。
- 「手動接続」を選択した場合は、手動でプリンターに接続します。

以上で設定は完了です。

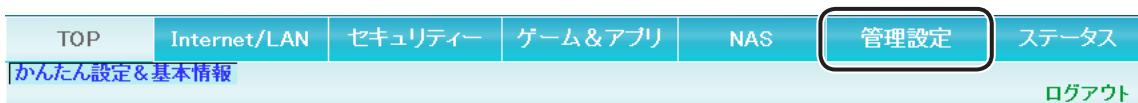
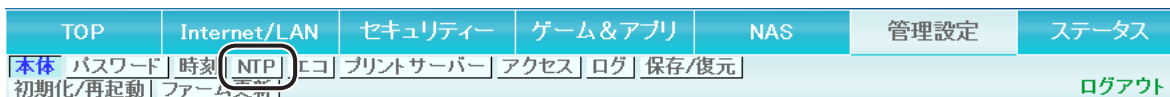
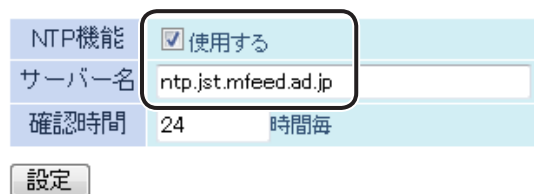
デバイスサーバー設定ツールの使いかたについては、製品に付属の「プリントサーバー機能の使いかた」を参照してください。

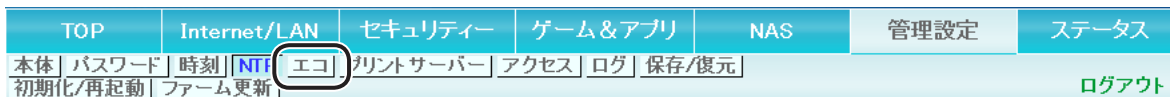
おまかせ節電機能を使って節電する

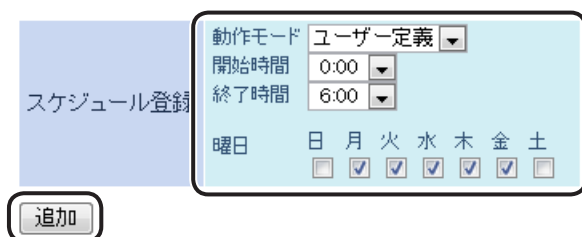
あらかじめ登録したスケジュールにしたがって本製品を省電力状態にする、おまかせ節電機能の設定について説明します。

メモ
・おまかせ節電機能で制限できる機能は、ランプのON/OFF、有線LANの通常動作/低速動作です。
・状態が切り替わる際、通信が一時的に切断されますので、通信中の場合はご注意ください。

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「管理設定」をクリックします。

3 「NTP」をクリックします。

4 NTP機能に「使用する」、サーバー名に「ntp.jst.mfeed.ad.jp」と表示されていることを確認します。

メモ
・NTP(Network Time Protocol)とは、正しい時刻に時計を修正・同期する仕組みです。任意のNTPサーバーを設定することもできますが、特に問題ない限りは初期設定(ntp.jst.mfeed.ad.jp)をご使用ください。
・おまかせ節電機能の設定をおこなうには、NTP設定を有効にする必要があります。(出荷時設定では有効になっています)

5 「エコ」をクリックします。

6 スケジュールと動作モードを設定して[追加]をクリックします。

追加

メモ
・「ユーザー定義モード」の初期設定は、ランプがOFF、有線LANが低速動作になっています。
・上記の画面では、月曜日～金曜日の0:00～6:00の間に、節電動作に切り替わるように設定しています。

7 スケジュールを「使用する」にして、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

本製品のIPアドレスを変更する

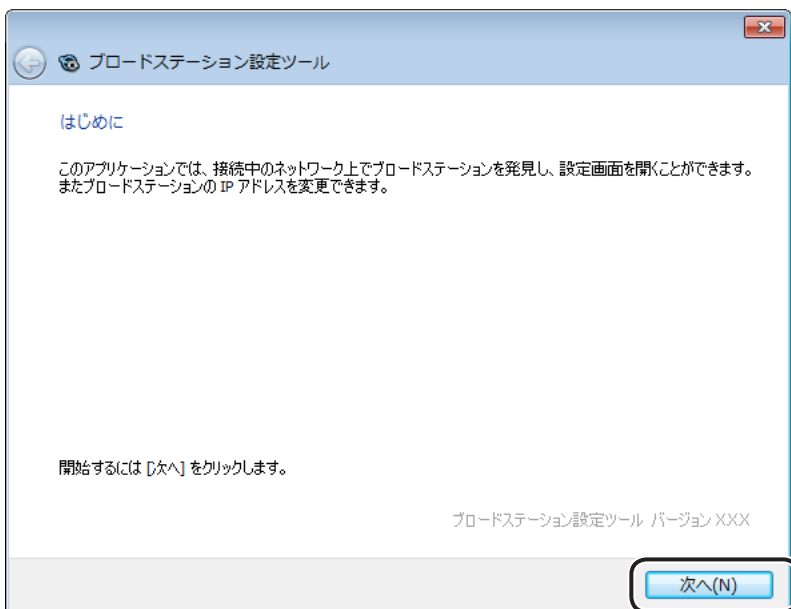
本製品に付属のブロードステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更することができます。ここでは、ブロードステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合

メモ
・ブロードステーション設定ツールがインストールされていない場合は、別紙の「らくらく！セットアップシート」を参照してインストールしてください。
・本製品のIPアドレスは、設定画面（P103）からも変更できます。

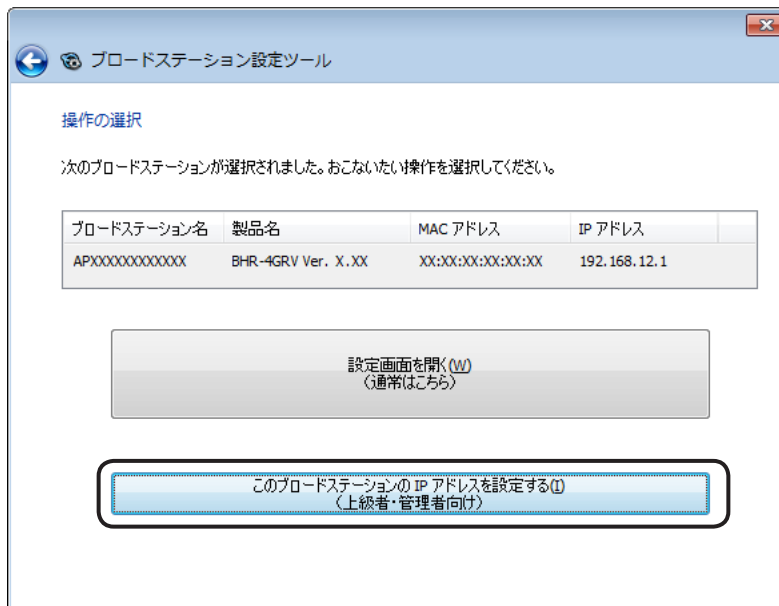
1 ブロードステーション設定ツールを起動します。

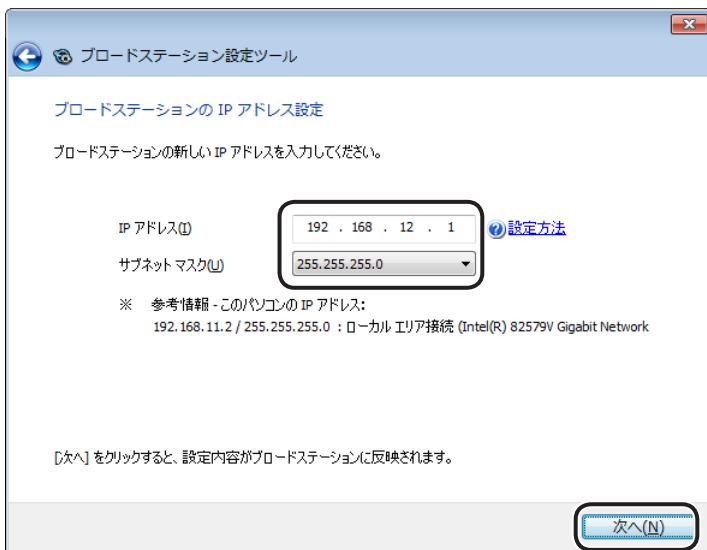
（Windwos 8の場合は、「スタート」画面にある[ブロードステーション設定ツール]を選択します。
Windwos 7/Vista/XPの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[BUFFALO]－[ブロードステーションユーティリティ]－[ブロードステーション設定ツール]を選択します）

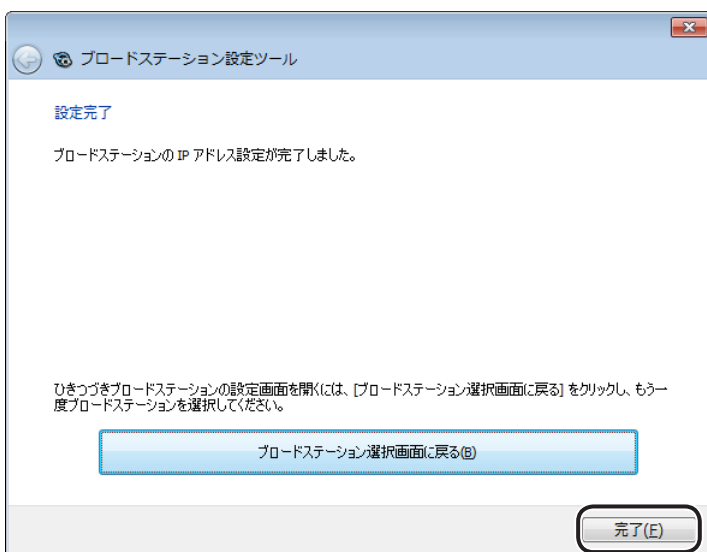
2 [次へ]をクリックします。

メモ パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「２つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3　以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。

メモ 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

4　[このブロードステーションのIPアドレスを設定する]をクリックします。

メモ 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このパソコンのIPアドレス設定」という画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

5　新しく設定するIPアドレスを入力して[次へ]をクリックします。

メモ
・本製品に管理パスワード(P128)が設定されている場合は、次の画面で管理パスワードを入力してください。
・本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[はい]をクリックしてください。

6　[完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

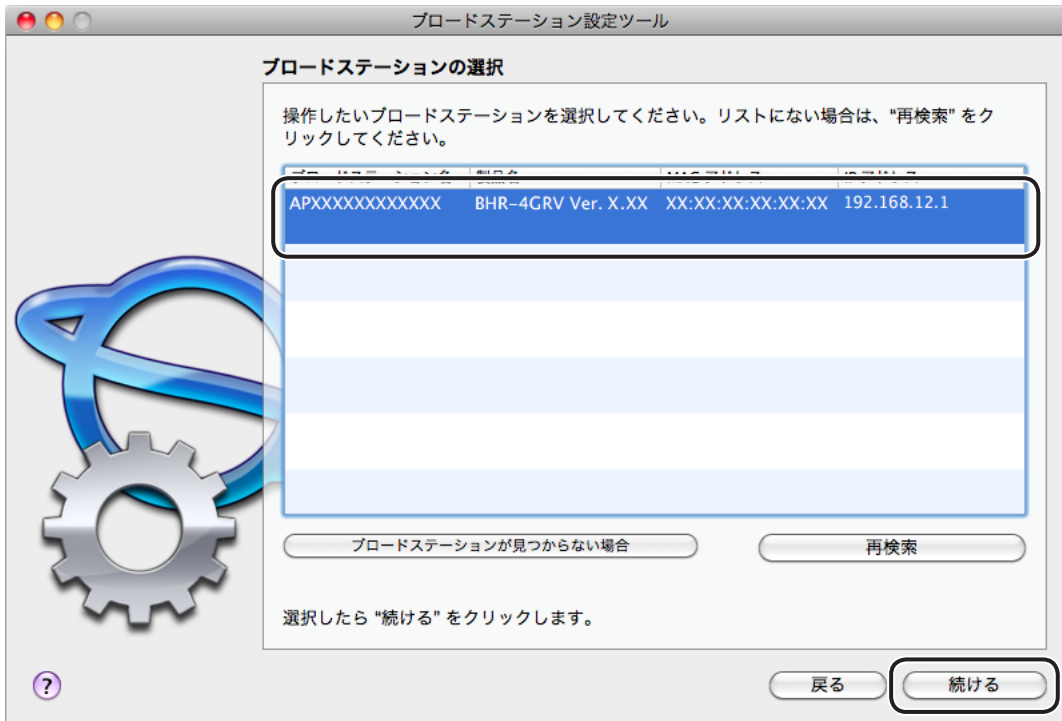
ここでは､Mac OS X 10.6の場合を例に説明します。

1 付属CDをMacにセットします。

2 デスクトップに表示されるCDのアイコンをダブルクリックします。

3 [Mac]－[ブロードステーション設定ツール]の順にダブルクリックします。

4 [続ける]をクリックします。

5 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。

メモ 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

6 [このブロードステーションのIPアドレスを設定する]をクリックします。

7　新しく設定するIPアドレスを入力して[続ける]をクリックします。

メモ
- 本製品に管理パスワード(P128)が設定されている場合は、次の画面で管理パスワードを入力してください。
- 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[無視して続ける]をクリックしてください。

8　[終了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

インターネット有害サイトへのアクセスを制限する（「i-フィルター」機能）

「i-フィルター」機能を使用して、インターネット有害サイトへのアクセスを制限する方法を説明します。

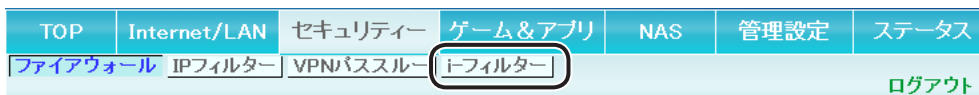
メモ
・「i-フィルター」機能を使用するには、ユーザー登録が必要です。初回登録時、トライアル期間として60日間無料で使用できます。
・トライアル期間終了後、継続して使用する場合は、「i-フィルター」サービスページで継続契約（有料）してください。

1 「設定画面を表示する」（P82）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「セキュリティー」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
かんたん設定＆基本情報
ログアウト

3 「i-フィルター」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
ファイアウォール | IPフィルター | VPNパススルー | i-フィルター
ログアウト

4 ［「i-フィルター」サービスページ>>］をクリックすると、ユーザー登録画面が表示されます。画面にしたがってユーザー登録を行ってください。

「ご利用上のご注意」

- 「i-フィルター」はデジタルアーツ株式会社の提供するサービスです。ご利用には同社のサービスサイトでのユーザー登録が必要となります。
- 本機能によりフィルターされるセッションは、デフォルトセッション中のHTTP通信のみとなります。PPPoEマルチセッションをご利用の場合や、SSL通信、外部プロキシサーバーをご利用の場合は、フィルター機能は動作しません。ご了承下さい。
- サービスサーバーとの通信障害時、その旨を表示するページが表示されます。詳細については「i-フィルター」サービスサイトにてご確認下さい。
- 本機能をPPPoEマルチセッションでご利用になられる場合、デフォルトのセッションがインターネットに接続されている必要があります。
- ブロードステーションのPPTPサーバーに接続しているPPTPクライアントは、i-フィルターの対象外となります。
- 本機能を利用する場合、ブラウジング等の速度が低下する場合があります。

ご利用の前に ［「i-フィルター」サービスページ >>］

※. このボタンをクリックすると、インターネット上の「i-フィルター」サービスページへ接続します。
「i-フィルター」をはじめてご利用の方は、このボタンをクリックし、ユーザー登録を行ってください。

「i-フィルター」機能 □使用する 管理パスワードが設定されていません

［設定］

5 「「i-フィルター」機能」の「使用する」にチェックを入れ、「閲覧禁止カテゴリー」を設定し、［設定］をクリックします。

メモ
- 「「i-フィルター」機能」の「使用する」のチェックを外すには、管理者パスワードを設定する必要があります。[管理設定]ー[パスワード]から設定してください。
- 「有効期間」は、「「i-フィルター」機能が有効」かつ「ユーザー登録後、契約期間が取得済み」の場合に表示されます。

6 「i-フィルター」機能を適用しないパソコンがある場合は、[除外パソコンリストの編集]をクリックします。

7 「登録するMACアドレス」を入力して、[新規追加]をクリックします。

メモ
- MACアドレスは2桁ずつ、コロン(:)で区切って入力します。
- 複数のMACアドレスを入力する場合は、スペースで区切って入力します。
- 「検出されたパソコンリスト」に「i-フィルター」を適用しないパソコンがある場合は、[追加]をクリックして追加できます。

8　[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

以上で設定は完了です。

ポートを開放する

ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバー公開することができます。

メモ
- サーバーを公開する場合、固定グローバルIPアドレスの取得およびプロバイダーと別途契約が必要な場合があります。
- 手順はお使いの環境によって異なります。
  ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合は、以下を参照してください。
  利用するポート番号が不明な場合は、「利用するポート番号が不明な場合」（P186）を参照してください。

ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合

1 「設定画面を表示する」（P82）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「ゲーム＆アプリ」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
かんたん設定＆基本情報
ログアウト

3 各項目を設定し、［新規追加］をクリックします。

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 新規追加: group1
Internet側IPアドレス	ブロードステーションのInternet側IPアドレス 手動設定:
プロトコル	○全て ○ICMP ○任意 プロトコル番号: ◉TCP/UDP HTTP(TCPポート:80) 指定の仕方 任意のTCP/UDPポート:
LAN側IPアドレス	192.168.12.210
LAN側ポート	TCP/UDPポート:

新規追加

グループ:

登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択すると、新たなグループを作成し、そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。

Internet側IPアドレス:

公開する各種サーバーの固定グローバルIPアドレスを設定します。Internet側IPアドレスをPPPoEサーバーから取得している場合は各PPPoE接続先のInternet側IPアドレスを設定します。手動設定を選択したときは、手動設定欄にIPアドレスを指定する必要があります。プロバイダーから複数の固定グローバルIPアドレス指定を受けている場合には、「手動設定」で本商品のInternet側IPアドレスに設定してあるアドレス以外のグローバルIPアドレスを設定することが可能です。

プロトコル:

アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。[TCP/UDP]を選択したときは、ポートを設定します。

LAN側IPアドレス:

インターネットからのアクセスの宛先となるプライベートIPアドレスを設定します。

LAN側ポート:

変換プロトコルでTCP/UDPを指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN側のポート番号を変更することができます。

以上の設定の組み合わせにより、最大32種類の組み合わせを設定できます。

メモ WWW(HTTP)サーバーを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意のLAN側のWWWサーバーIPアドレスに転送できます。

グループ:

任意の名称(例:group1)を入力します。

Internet側IPアドレス:

[ブロードステーションのInternet側IPアドレス]を選択します。

プロトコル:

TCP/UDPを選択し、[HTTP(TCPポート:80)]を選択します。(任意のTCP/UDPポートは空欄)

LAN側IPアドレス/LAN側ポート:

LAN側IPアドレスは、サーバーIPアドレス(例:192.168.12.210)を入力します。LAN側ポートは、空欄にします

4 設定内容が登録されていることを確認します。

以上で設定は完了です。

利用するポート番号が不明な場合

1 「設定画面を表示する」（P82）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「ゲーム＆アプリ」をクリックします。

3 「DMZ」をクリックします。

4 DMZのアドレスを設定し、[設定]をクリックします。

DMZのアドレス 192.168.12.210

※WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス[192.168.12.2]

メモ
- DMZのアドレスは、インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送されるLAN上のIPアドレスです。ここで設定されたIPアドレスの機器でのみ、ネットワークゲームなどを利用できます。
- ポート変換の設定で[LAN側IPアドレス]を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- DMZを使用する場合は、機器側のIPアドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- 使用するソフトや契約しているプロバイダーによっては、DMZを設定してもソフトウェアが動作しない場合があります。
- DMZに設定した機器は、他のパソコンに比べてセキュリティーが低下するため、重要なデータなどをその機器に保存しないことをおすすめします。
- 安全のため、ファイアウォールの設定画面で、「NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する」(P109)を有効にしておくことをおすすめします。

以上で設定は完了です。

フレッツ・スクウェア/フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトの設定をする

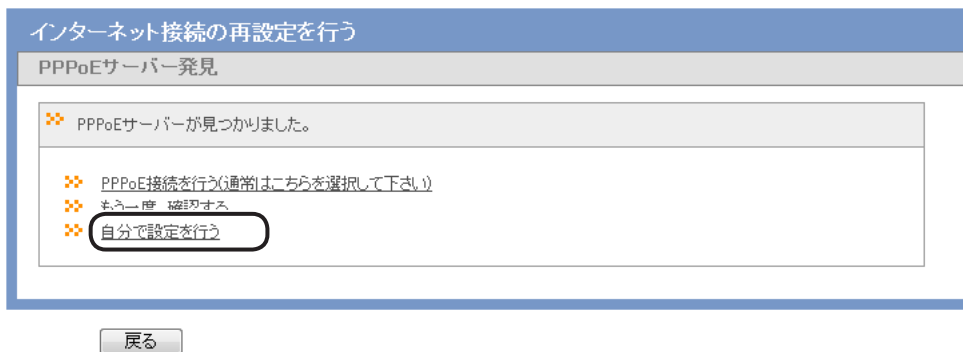
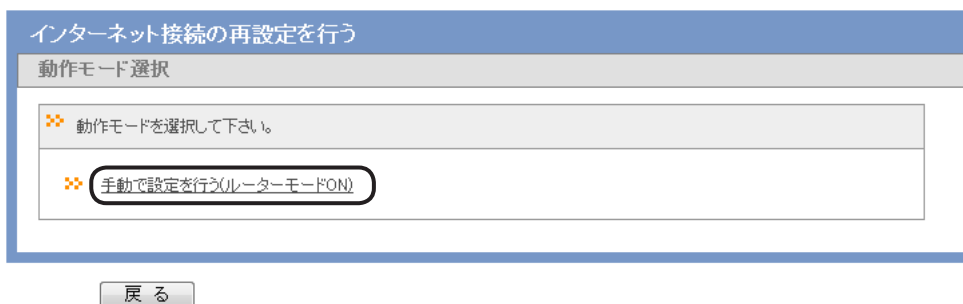
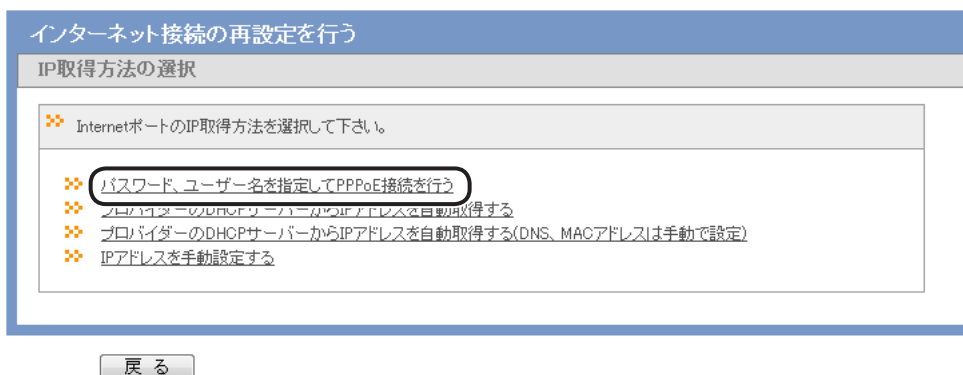
本製品のPPPoEマルチセッション機能を使用して、1つの回線契約でプロバイダーとフレッツ・スクウェア/フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトに同時に接続するには、以下の設定を行ってください。

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2

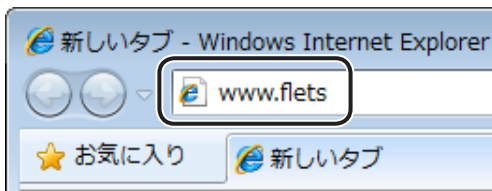
「インターネット接続を行う」をクリックします。

3 回線の自動判別が行われますので、画面が切り替わるまで、しばらく待ちます。

4　「自分で設定を行う」をクリックします。

5　「手動で設定を行う（ルーターモードON）」をクリックします。

6　「パスワード、ユーザー名を指定してPPPoE接続を行う」をクリックします。

7 「フレッツ・スクウェア接続」または「フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト」にて、NTT東日本またはNTT西日本を選択して[進む]をクリックします。

8 画面に「接続成功です」と表示されたら、[設定完了]をクリックします。

9 Webブラウザーを起動します。

10 フレッツ・スクウェアの場合は、アドレス欄に「www.flets」と入力して、Enterキーを押します。
フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトの場合は、アドレス欄に「v4flets-east.jp」(NTT東日本向け)または「v4flets-west.jp」(NTT西日本向け)と入力して、Enterキーを押します。

11 フレッツ・スクウェアまたはフレッツ 光ネクスト サービス情報サイトが表示されます。

以上で設定は完了です。

Bフレッツなどで固定IPサービスを利用する(IP Unnumbered)

本製品は、IP Unnumbered機能に対応しています。IP Unnumbered機能を使用することで、プロバイダーから配布された複数のグローバルIPアドレスを本製品に接続した機器で使用できます。ここでは例として、以下の場合の設定例を説明します。

例:プロバイダーから「123.45.67.8(サブネットマスク255.255.255.248)」(固定IPアドレス8個)というIPアドレスが割り当てられた場合

プロバイダーから配布された複数のグローバルIPアドレスを本製品に接続した機器で使用できます。ここでは例として、以下の場合の設定例を説明します。

Internet側アドレス(自動設定)	123.45.67.8(ネットワークアドレス)
LAN側アドレス(手動設定)	123.45.67.9(ゲートウェイ)
1台目のパソコン(手動設定)	123.45.67.10(グローバルIPアドレス)
・	
・	
5台目のパソコン(手動設定)	123.45.67.14(グローバルIPアドレス)
ブロードキャストアドレス	123.45.67.15(ブロードキャストアドレス)
サブネットマスク	255.255.255.248

メモ プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

1 「設定画面を表示する」(P82)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「Internet/LAN」をクリックします。

TOP	Internet/LAN	セキュリティー	ゲーム&アプリ	NAS	管理設定	ステータス

かんたん設定&基本情報　ログアウト

3 「IP Unnumberedを使用する」を選択し、[設定]をクリックします。

IPアドレス取得方法	○ インターネット@スタートを行う ○ DHCPサーバからIPアドレスを自動取得 ○ PPPoEクライアント機能を使用する ◉ IP Unnumberedを使用する ○ 手動設定 IPアドレス サブネットマスク 255.255.255.0

※PPPoE接続先の設定はInternet/LAN設定 − PPPoE設定で行ってください

[拡張設定]

デフォルトゲートウェイ	
DNS(ネーム)サーバアドレス	プライマリ: セカンダリ:
Internet側MACアドレス	◉ デフォルトのMACアドレスを使用(xx:xx:xx:xx:xx:xx) ○ 手動設定
Internet側MTU値	1500 バイト

設定

4 設定が保存されたら[PPPoE]をクリックします。

5 「PPPoE接続先リスト」欄にある、[接続先の編集]をクリックします。

6 接続先を登録し、[新規追加]をクリックします。

メモ プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

7 接続先が登録されたら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

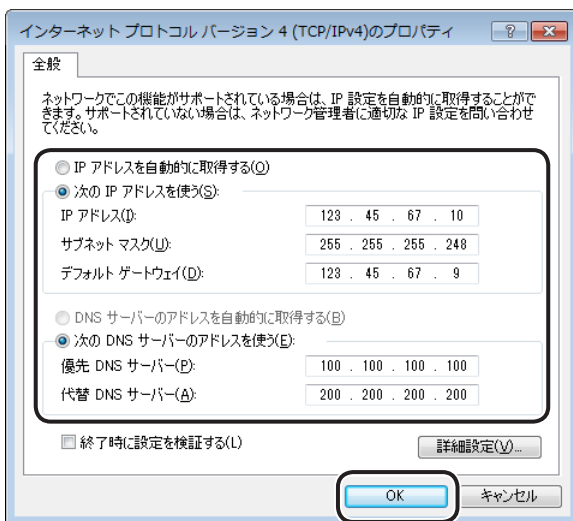
8 「IP Unnumbered使用時の接続先」を選択して、[設定]をクリックします。

9 設定が保存されたら[LAN]をクリックします。

10 本製品のLAN側IPアドレス(IP Unnumbered用)の設定をして、[設定]をクリックします。

メモ プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

11 「LAN側IPアドレスを変更します」と表示されたら、[設定]をクリックします。

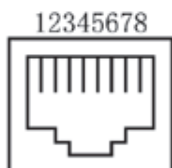
12 プロバイダーから送られてきた資料を参照して、本製品に接続するパソコンのIPアドレスを設定します。

以上で設定は完了です。

Chapter 6 - 付録

製品仕様

有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE802.3ab（1000BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）
データ転送速度	10/100/1000Mbps（自動認識）
データ伝送モード	半二重/全二重（自動認識）
伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5（1000BASE-T）、4B5B/MLT-3（100BASE-TX）、マンチェスターコーディング（10BASE-T）
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
ポート	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T　兼用ポート（AUTO-MDIX）
その他	
電源	External AC 100 - 240V Universal, 50/60Hz
消費電力	11.4W（最大）
外形寸法	165mm x 35mm x 158mm （スタンド含まず）
重量	334g （スタンド含まず）
動作環境	温度：0 - 40゜C 湿度：20 - 80 % （結露なきこと）

ポート仕様

LANポート/Internetポート仕様
コネクター形状（RJ-45型8極コネクター）

1000BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	BI_DA+/BI_DB+	送受信データA(+)/送受信データB(+)
2	BI_DA-/BI_DB-	送受信データA(-)/送受信データB(-)
3	BI_DB+/BI_DA+	送受信データB(+)/送受信データA(+)
4	BI_DC+/BI_DD+	送受信データC(+)/送受信データD(+)
5	BI_DC-/BI_DD-	送受信データC(-)/送受信データD(-)
6	BI_DB-/BI_DA-	送受信データB(-)/送受信データA(-)
7	BI_DD+/BI_DC+	送受信データD(+)/送受信データC(+)
8	BI_DD-/BI_DC-	送受信データD(-)/送受信データC(-)
100BASE-TX/10BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+/TD+	受信データ(+)/送信データ(+)
2	RD-/TD-	受信データ(-)/送信データ(-)
3	TD+/RD+	送信データ(+)/受信データ(+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ(-)/受信データ(-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

※ AUTO-MDIX機能により、送信/受信データを自動的に切り替えます。

ソフトウェアの削除

Windows 8/7/Vista/XPをお使いの場合

1 付属CDをパソコンにセットします。

メモ
・「自動再生」画面が表示された場合は、[Launcher.exeの実行]をクリックしてください。
・「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックしてください。

2 以下の画面が表示されたら、[削除]をクリックします。

3 [ソフトの削除画面を開く]をクリックします。

4　削除したいソフトを選択して､削除します｡

以上で設定は完了です｡

Mac OS Xをお使いの場合

ブロードステーション設定ツールの場合は､プログラムをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてください｡

デバイスサーバー設定ツールの場合は､付属CD内の[Mac]−[DeviceServer]−[Uninstall]内にある｢デバイスサーバー設定ツールアンインストーラ｣をダブルクリックして､画面の指示に従って削除してください｡

以上で設定は完了です｡

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
Internet	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
	デフォルトゲートウェイ	ー
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	ー
	Internet側MACアドレス	デフォルトのMACアドレスを使用
	Internet側MTU値	1500バイト
PPPoE	デフォルトの接続先	未設定
	IP Unnumbered使用時の接続先	未設定
	PPPoE接続先リスト	未設定
	接続先経路の表示	未設定
DDNS	ダイナミックDNS機能	使用しない
	ダイナミックDNS設定情報	未登録
PPTPクライアント	PPTPクライアント機能	使用しない
	接続先ネットワークの表示	未設定
PPTPサーバー	LAN側IPアドレス	192.168.12.1(255.255.255.0)
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.12.2 から 64台
	PPTPサーバー機能	使用しない
	PPTPユーザーの表示	未設定
	PPTP接続ユーザー経路の表示	未設定
	接続可能アドレスの表示	未設定
LAN	LAN側IPアドレス	192.168.12.1 (255.255.255.0)
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.12.2 から 64台
	LAN側IPアドレス(IP Unnumbered用)	ー
	拡張設定	表示しない

機能	パラメーター	出荷時設定
	リース期間	48時間
	デフォルトゲートウェイの通知	ブロードステーションのLAN側IPアドレス
	DNSサーバーの通知	ブロードステーションのLAN側IPアドレス
	WINSサーバーの通知	通知しない
	ドメイン名の通知	取得済みのドメイン名
DHCPリース	リース情報	ー
アドレス変換	アドレス変換	使用する
	高速アドレス変換	使用する
	破棄パケットのログ出力	出力しない
経路情報	経路情報	ー
RIP	Internet側RIP送信	なし
	Internet側RIP受信	なし
	LAN側RIP送信	なし
	LAN側RIP受信	RIP1とRIP2両方
ファイアウォール	ログ出力	出力しない
	簡易ルール	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する Disable IDENTの要求を拒否する Enable Internet側からのPINGに応答しない Enable
IPフィルター	ログ出力	出力しない
	IPフィルター登録情報	未設定
VPNパススルー	フレッツIPv6サービス対応機能	使用しない
	PPPoEパススルー	使用しない
	PPTPパススルー	使用する
i-フィルター	「i-フィルター」機能	使用しない
ポート変換	ポート変換登録情報	未設定
DMZ	DMZのアドレス	未設定
UPnP	UPnP機能	使用する
QoS	インターネットへの送信用QoS	使用しない

機能	パラメーター	出荷時設定
ディスク管理	USBディスクの自動割当	使用する
	FATフォーマット ファイル名文字コード	日本語 ShiftJIS(CP932)
	HDD節電機能	使用しない
共有フォルダー	アクセス制限機能	アクセス制限なし(読取/書込可能)
	Webアクセス設定	アクセス制限を使用する
ユーザー管理	ユーザー情報	未設定
共有サービス	共有フォルダー機能	使用する
	ブロードステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	ブロードステーション説明	未設定
	ワークグループ名	WORKGROUP
	Windowsクライアント言語	日本語 ShiftJIS(CP932)
Webアクセス	Webアクセス機能	使用しない
	HTTPS/SSL暗号化	使用しない
	Webアクセス外部ポート	自動的に外部ポート番号を設定する
	DNSサービスホスト名	BuffaloNAS.com登録機能を使用する
メディアサーバー	メディアサーバー機能	使用しない
BitTorrent	BitTorrent機能	使用する
	BitTorrent外部ポート番号	自動的に外部ポート番号を設定する
	帯域制限設定	使用する 最大アップロード速度　1000KB/s 最大ダウンロード速度　200KB/s
本体	ブロードステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	設定用ホスト名	未設定
	ネットワークサービス解析	使用する
パスワード	管理ユーザー名	root(変更不可)
	管理パスワード	未設定
時刻	日付	2011年1月1日
	時刻	0時0分0秒
	タイムゾーン	(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル

機能	パラメーター	出荷時設定
NTP	NTP機能	使用しない
	サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
エコ	スケジュール	使用しない
	スケジュール登録	動作モード　通常動作 開始時間　0:00 終了時間　0:30
	ユーザー定義モード	ランプ　オフ 有線LAN　エコ(低速動作)
プリントサーバー	プリントサーバー	使用する
	プリンター複合機を使用する	使用する
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	有線LANからの設定を禁止する　無効 Internet側からの設定を許可する　無効
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	Syslogサーバー	ー
	転送するログ情報	アドレス変換、IPフィルター、ファイアウォール、PPPoEクライアント、ダイナミックDNS、DHCPクライアント、DHCPサーバー、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク
ファーム更新	更新方法	ローカルファイル指定
	ファームウェアファイル名	ー
	ファームウェア更新通知機能	使用する
	確認時間	自動

リモートアクセス（VPN接続）で困ったときは

外出先から自宅のパソコンにアクセスできないなど、リモートアクセスで困ったときは、以下の手順で当社ホームページのQ&Aを参照してください。

1 Webブラウザーを起動し、当社ホームページ（buffalo.jp）へアクセスします。

2 右上の検索欄に「5019」と入力し、[検索]をクリックします。

3 Q&Aページが表示されます。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。